

岡崎消防

令和4年 消防年報



令和5年 刊行

岡崎市消防本部

はじめに

この年報は、岡崎市の消防の現況と令和4年及び令和4年度中における火災予防消防活動のあらましをまとめたもので、これを比較検討し将来における消防行政の参考資料に供する目的をもって編集しました。

令和5年7月

岡崎市消防長

山崎 武利





岡崎市消防本部

～ 一目統計 ～

令和5年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(令和4年)
	 岡崎市			
	387.20km ²	男 194,477 人 女 189,312 人 計 383,789 人	168,543 世帯	年平均気温 16.6℃ 年平均湿度 69.3% 総降水量 1525.5mm

消防予算 構成・人員	消防費予算	署所数	消防職員数	消防団員数
				
	43億5,927万円	1 本部 3 本署 2 分署 5 出張所	392人 平均年齢(35.9歳)	1,471人 平均年齢(41.8歳)

消防車両 水 利	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	消防水利
				
	化学消防ポンプ車2台 ポンプ車5台・タンク車10台 小型動力ポンプ付水槽車4台	救助工作車3台・消防二輪車3台 はしご車4台・高所活動車1台 大型水陸両用車1台 支援車1台	救急車15台	消火栓 4,037基 防火水槽 897基

災害件数 (令和4年)	火 災	救 急	救 助	119番受付
				
	88件	出場件数 17,665件 搬送人員 16,254人	出場件数 286件 救助人員 134人	23,841件

予 防	防火対象物数 (令和4年12月末現在)	危険物施設数 (令和4年12月末現在)	消防同意数 (令和4年中)	外郭団体
				婦人自主防災クラブ 31クラブ 545人
	13,559件	製造所 5 件 貯蔵所 383 件 取扱所 283 件 計 671 件	630件 (敷地別)	危険物保安連絡協議会 225会員
				少年消防クラブ 21中学校 11,567人 48小学校 7,575人
				幼年消防クラブ 77園 9696人

目 次

岡崎消防の概況	1 頁
岡崎消防の沿革	2
岡崎市及び岡崎消防のあらまし	16
消 防 庁 舎	17
1 消防本部・中消防署本署	17
2 中消防署北分署	18
3 中消防署花園出張所	18
4 東消防署本署	19
5 東消防署南分署	20
6 東消防署青野出張所	20
7 東消防署額田出張所	21
8 東消防署本宿出張所	21
9 東消防署形埜出張所	22
10 西消防署本署	23
令和4年度消防のあゆみ	24
消 防 予 算	30
消 防 機 構	31
事 務 分 掌	32
消 防 現 勢	33
1 職員現有人員	33
2 職員の配置状況	34
3 消防吏員の勤務年数状況	35
4 消防吏員の年齢状況	35

5	消防吏員の免許等資格所有状況	36 頁
	消防機械配備状況	37
1	配備状況一覧表	37
2	消防本部・消防署機械配備	38
3	消防団機械配備	42
	消 防 水 利	50
	さく泉防火水槽	51
	耐震性貯水槽	51
	消防音楽隊	52
1	隊員の編成	52
2	編成	53
3	音楽隊参加行事	53
	消防職員教養実施状況	54
1	一般教養	54
2	委託教養	54
	令和4年度消防訓練状況	55
	協定・協約等	56
1	消防相互応援協定	56
2	協定	56
3	業務協約	56
	出動状況	57
	予 防 業 務	58
	火災の実態	59

1	令和4年中の火災状況と前年との比較	59 頁
2	出火率（人口1万人あたりの出火件数）	59
3	月別出火状況	60
4	曜日・時間別出火状況	61
5	建物火災火元用途別焼損状況	62
6	原因別出火状況	63
7	最近10年間の推移	64
8	管轄区域別出火状況	65
9	最近5年間の主要火災	66
10	高速道路火災	67
	(1) 東名高速道路	67
	ア 区間別火災状況	67
	イ 月別火災状況	67
	ウ 原因別等状況	67
	(2) 新東名高速道路	68
	ア 区間別火災状況	68
	イ 月別火災状況	68
	ウ 原因別等状況	68

予	防	69
1	防火管理	69
	(1) 防火対象物の状況	69
	(2) 管轄区域別予防査察等状況	70
	(3) 防火管理者を必要とする防火対象物の状況	71
	(4) 防火管理講習等の状況	72
	(5) 消防用設備等の点検報告の状況	73
	(6) 階別防火対象物状況（3階建以上）	74
	(7) 高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物	75
	(8) 火災予防条例諸届出状況	76
	(9) 消防訓練等実施状況	77
	(10) 起震車稼働状況	77
	(11) 月別消防訓練等実施状況	78
2	消防同意	79

(1) 管轄区域別建築物同意状況（敷地別）	79 頁
(2) 建築物構造別同意状況（棟別）	80
(3) 建築物工事別同意状況（棟別）	81
3 危険物規制	82
(1) 管轄区域別危険物施設状況	82
(2) 危険物施設の推移	83
(3) 月別危険物施設許可・検査状況	84
(4) 危険物施設許可件数等の推移状況	85
(5) 危険物施設等届出状況	85
外 郭 団 体	86
1 岡崎市危険物保安連絡協議会	86
2 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会	88
3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会	90
4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会	91
通 信	92
消 防 通 信	93
1 通信施設状況	94
2 緊急通報覚知別月別状況	97
3 119番月別受信状況	98
(1) 指令台	98
(2) 他都市転送	99
4 緊急通報装置月別受信状況	99
5 第三者緊急通報月別受信状況	99
6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況	100
(1) メール119・FAX119月別受信状況	100
(2) Net119（令和元年10月1日運用開始）	100
(3) 最近5年間の聴覚・言語障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移	100
7 最近5年間119番通報件数の推移	101
(1) 固定電話	101
(2) 携帯電話	101
(3) IP電話	101

気 象	-----	102 頁
1 月別気象状況	-----	102
2 月別降水量	-----	102
3 最近5年間の気象状況	-----	102
救急・救助	-----	103
救 急 出 場	-----	104
1 事故種別出場状況（前年との比較）	-----	104
2 管内、管外別出場状況	-----	105
3 管外出場状況	-----	105
4 事故種別不搬送理由	-----	106
5 時間帯別出場状況	-----	106
6 最近10年間における管轄区域別救急出場状況	-----	107
傷病者の搬送	-----	108
1 年齢別搬送人員	-----	108
2 収容所要時間	-----	109
3 医療機関別搬送状況	-----	109
4 傷病程度別搬送状況	-----	110
5 時間帯別搬送状況	-----	110
6 救急隊員の行った応急処置	-----	111
7 疾病分類別搬送状況	-----	111
救 助 出 動	-----	112
1 管内、管外事故種別出動状況	-----	112
2 発生場所別出動状況	-----	113
3 発生場所別活動状況	-----	113
4 発生場所別救助人員	-----	114
5 最近10年間における出動状況	-----	114
6 時間帯別出動状況	-----	115
7 救助工作車事故種別出動件数	-----	115
高速道路救急救助出場	-----	116

1 東名高速道路	116 頁
(1) 救急出場状況（前年との比較）	116
(2) 区間別救急出場状況	116
(3) 最近10年間の救急、救助出場件数	117
2 新東名高速道路	118
(1) 救急出場状況（前年との比較）	118
(2) 区間別救急出場状況	118
(3) 最近5年間の救急、救助出場件数	119
救急法の講習会	120
消 防 団	121
消 防 団	122
1 消防団現勢	122
2 消防団員階級別勤務年数調	123
3 消防団員階級別年齢調	123
消防団員報酬	124
費用弁償	124
消防団員退職報償金	124
公務災害補償基礎額	125
消防団員等救慰金	125
1 障害者救慰金	125
2 負傷者等救慰金	126
3 殉職者救慰金	126
4 殉職者特別救慰金	126

岡崎消防の概況



岡崎消防の沿革

徳川末期から明治の中期まで消防組の制度が続いた。

明治32年	岡崎に1組3部112人の公設消防組を設置した。
明治39年	三島村などを合併して5部制とした。
大正3年	広幡町の合併で6部制となる。
大正5年	7月1日市制施行、岡崎市消防組 1組 6部定員 270人となる。
昭和3年	町村の合併によって3組14部定員 406人となる。 消防ポンプ自動車4台、手引ガソリンポンプ4台、腕用ポンプ13台とする。
昭和6年	岡崎消防組9部198人、南消防組3部115人、東消防組5部181人に改編した。
昭和14年	従来の組織を改組統合し、岡崎市警防団が発足する。
昭和19年	分団制を廃止し、7警防団1,260人に改める。 大東亜戦争激しく、消防も戦時体制に入る。
昭和20年	空襲により市街地の大半を焼失した。
昭和22年	警防団を廃止し、9消防団1,145人に改める。
昭和23年	消防組織法が制定され、警察機関から分離して、岡崎市消防本部、消防署を設置する。(職員18人、ポンプ自動車1台) 6月三島消防団から六名消防団が分離し、各小学校単位に消防団を置き、10消防団1,185人となる。
昭和24年	10消防団1,213人、ポンプ自動車13台、三輪ポンプ車1台、手引動力ポンプ2台、腕用ポンプ49台となった。
昭和25年	職員28人に増員する。
昭和26年	消防庁舎を新築し、機構を改めて、消防本部に3課、7係を設置、職員69人とする。救急業務を開始する。
昭和30年	隣接8か町村(福岡町、岩津町、竜谷村、藤川村、山中村、本宿村、河合村常磐村)を合併、18消防団2,795人となる。 矢作町を合併、19消防団3,038人となる。
昭和35年	機構の一部改正により消防本部に3課、7係を設け、消防署に2係を併設する。職員を75人とする。
昭和37年	六ッ美町合併によって、20消防団 2,083人、ポンプ自動車29台、三輪ポンプ車2台、小型動力ポンプ79台、積載車9台、腕用ポンプ20台となる。
昭和38年	救急自動車及び消防自動車(各1台)の特別寄贈を受ける。
昭和39年	屈折はしご付消防ポンプ自動車(1台)を購入する。
昭和40年	消防署北部出張所を開設する。
昭和41年	消防署南部出張所開設、職員96人とする。救急自動車及び広報車(各1台)の特別寄贈を受ける。

昭和42年	救急自動車、救助器具等の特別寄贈を受ける。
昭和43年	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車及び救助車（各1台）の特別寄贈を受ける。
昭和44年	消防署東部出張所用地を購入する。 北部、南部出張所に赤バイ（各1台）を購入する。 山林火災用超小型ポンプを配備する。
昭和45年	常備消防は、消防本部1、消防署1、出張所2、職員121人となる。 広報車（1台）の特別寄贈を受け、救急自動車（1台）を購入する。
昭和46年	消防署東部出張所開設、職員15人を増員する。 岡崎市消防音楽隊を設置する。 32mはしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車及び連絡車（各2台）を購入する。 消防署東部出張所に赤バイ（1台）を購入する。
昭和47年	職員19人増員に伴い、消防本部の機構改正をする。 予防課（調査係を廃止し、危険物係、指導係を新設）消防本部3課8係とする。 消防署南部出張所に救急自動車（1台）を購入する。 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 連絡車（1台）を購入する。
昭和48年	消防署組織の改正に伴い、東部出張所を東分署に昇格させる。 南部、北部出張所を南出張所、北出張所と名称を改め、西出張所を開設、職員30人に増員する。 救急自動車（2台）及び広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車（1台）、救急自動車（3台）及び連絡車（3台）を購入する。
昭和49年	職員30人を増員、消防署組織の一部を改正する。 本署に通信第1、第2係を設置する。 西出張所を西分署に昇格、救急自動車（1台）、ラジコン飛行機（1機）、水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（2台）を購入する。 ラジコンヘリコプター（2機）の特別寄贈を受ける。 照明車及び指揮車各（1台）を購入する。
昭和50年	4月 職員10人増員、定員210人とする。 5月 40mはしご付消防ポンプ自動車の特別寄贈を受ける。 8月 消防ポンプ自動車（1台）南出張所へ更新配備する。
昭和51年	3月 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 8月 アクアラング（2組）の特別寄贈を受ける。 10月 水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和52年	2月 救急自動車（1台）、防災車（1台）の特別寄贈を受ける。 7月 救助工作車（1台）の特別寄贈を受ける。

昭和52年	10月	新消防本部庁舎を（昭和52～53年度継続事業）建設する。
	11月	大型化学消防自動車（1台）及び小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入する。 岡崎市防火防犯協会連絡会を岡崎市防災防犯協会連絡会に改組する。
昭和53年	1月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	消防団再編成により定員1,777人とする。（甲種略衣支給）
	7月	防災連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。
	10月	新消防本部庁舎竣工、業務を開始する。
	11月	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和54年	3月	新北出張所庁舎を建設する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	北出張所を分署に昇格させ、業務を開始する。 職員10人増員、定員220人とする。 本署に救急第1、第2係を設置する。 高圧ガス製造事業所（空気）を設置する。
	12月	レンジャー用舟形担架（1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入、岡崎市消防のあゆみを発刊する。
昭和55年	3月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	12月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車（1台）を購入する。
昭和56年	1月	25m級屈折（3節）はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	2月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	3月	消防署南分署竣工、業務を開始する。
	4月	職員7人増員、定員227人とする。
	6月	人員輸送車（マイクロバス 1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	広報連絡車（2台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	10月	化学消防ポンプ自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（8台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	11月	起震車（マグマ号 1台）を購入する。
	12月	救急自動車（2B型 2台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（I型 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
昭和57年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。

昭和57年	3月	広報連絡車（2台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（6台）を購入する。 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会を（5クラブ、105人）発足する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP205A型 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	11月	広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。
昭和58年	5月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ車台付（B-3級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP 205B型 5台）を購入する。 婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）10クラブ 205人となる。 小型動力ポンプ車台付（トーハツV 10 D 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。
昭和59年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 電源照明車（1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	6月	連絡車（1台）を購入する。
	8月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 防災用小型動力ポンプ（C-1級 1台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（D-1級 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
昭和60年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）15クラブ305人となる。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（高圧ポンプ付 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（22台）を購入する。
	12月	高発泡車（1台）を購入する。
昭和61年	1月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 連絡車（1台）を購入する。

昭和61年	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）20クラブ405人となる。
	3月	小型動力ポンプ車台付（D-1級 10台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。 消防署青野出張所の庁舎竣工。
	4月	消防署青野出張所の業務を開始する。 消防署組織規程を改正する。（消防署の構成を本署、分署、出張所とする。 救急第1、第2係を改め救助救急第1、第2係とする。） 職員5人増員、定員232人とする。
	8月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ積載車（16台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）を購入する。
昭和62年	2月	婦人自主防災クラブ結成（4クラブ）24クラブ485人となる。
	3月	広報車（1台）を購入する。
	5月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 指揮車（1台）を購入する。
	7月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	8月	救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
昭和63年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。 消防ポンプ自動車（水I-A型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（6クラブ）30クラブ605人となる。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。
平成元年	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	発動発電機（1.2kw 20台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。 防災車（1台）を購入する。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	12月	防火広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
平成2年	1月	30m級はしご付消防自動車（1台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	7月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	消防指揮広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
平成3年	1月	消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。

平成3年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	5月	人員輸送車（1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。
平成4年	3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 救急自動車（2B型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。 市町村波を1波増波し、2波とする。
	5月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。 救助工作車（1台）を購入する。
平成5年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型 1台）を購入する。 救急自動車（高規格 1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員8人を増員、定員240人とする。 女性消防吏員2人を採用する。
	8月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。 消防広報車（1台）を購入する。
	11月	高規格救急資器材（1台分）を購入する。 救急資器材（II課程 2台分）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。
平成6年	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	4月	女性消防吏員1人を採用する。 本署に救助救急司令を設ける。
	7月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。
	8月	広報連絡車（1台）を購入する。 救急資器材（II課程 2台分）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 1台）を購入する。 はしご付消防自動車（50m級 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（IA型 1台）を購入する。
平成7年	3月	救急自動車（2B型 II課程対応車両 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。

平成7年	4月	本署に本署司令長を設ける。 分署に分署長補佐を設ける。 救助救急司令を救急救助司令に改める。 救助救急係を救急係及び救助係とする。
	7月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	9月	広報連絡車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（I B型 2台）を購入する。 救助工作車（II型 1台）の特別寄贈を受ける。
平成8年	3月	救急自動車（高規格 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。 消防用救助器具115セットを消防団へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車庫警備室へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車両へ配備する。
	4月	職員7人を増員、定員247人とする。 予防課に調査係を設ける。 消防署の通信係を廃止し、消防本部通信課とする。 分署に救急係を設ける。 新通信指令システムの運用を開始する。
	6月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	新東分署庁舎を建設する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
	11月	クローラ式大量送水システムを開発する。
	12月	消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。
平成9年	3月	救急自動車（2B II課程対応車両 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。
	4月	東分署を消防署に昇格させ2署制とし、業務を開始する。 職員14人を増員、定員261人とする。
	5月	消防広報車の特別寄贈を受ける。
	6月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（4台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。
平成10年	1月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2B II課程対応車両 1台）を購入する。
	4月	岡崎市東消防署額田出張所を開設し出張所長以下17人配置、額田町の消防

平成10年	4月	事務の受託業務を開始する。 職員9人を増員、定員270人とする。 出張所に出張所長補佐を設ける。
	5月	岡崎市危険物安全協会を岡崎市危険物防火安全協会に改組する。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-I型 2台）購入する。
平成11年	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 消防広報用連絡車（1台）を購入する。 中消防署花園出張所の庁舎完工。
	4月	中消防署花園出張所の業務を開始する。 職員11人を増員、定員281人とする。 予防課に主幹を設ける。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成12年	2月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
	3月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
	4月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 職員5人を増員、定員286人とする。 消防本部に班体制を導入する。 庶務課、消防課、通信課に主幹を設ける。 分署の分署長補佐を廃止し、警防司令を設ける。 被服の点数制を導入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 消防広報車1台を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）購入する。
平成13年	4月	市役所に防災課が設けられ消防職員2人出向する。 通信課を通信指令室に改める。 予防課の予防班、調査班を統合し予防調査班とする。 中消防署本署に予防係を設ける。

平成13年	7月	I S O 1 4 0 0 1 を認証取得する。
	10月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 1台）を購入する。
	12月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。
平成14年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 新西分署の庁舎を建設する。 消防広報車の特別寄贈を受ける。
	4月	西分署を消防署に昇格させ3署制とし、業務を開始する。 職員10人を増員、定員294人とする。 消防団再編成により定員1,479人とする。 耐震性貯水槽完成（飲料水兼用100m ³ ）がシビックセンターから移管される。
	12月	救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成15年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員14人を増員、実員308人とする。 救急救助司令を救急司令、救助司令とする。 消防団組織を再編成し94部、定員1,268人とする。
	5月	岡崎市危険物防火安全協会と岡崎市自衛消防隊連絡協議会が合併し岡崎市危険物保安連絡協議会となる。
	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。
	11月	防火広報車（1台）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 1台）を購入する。
平成16年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 人員輸送車（1台）を購入する。
	4月	職員12人を増員、実員320人とする。 各消防署本署に救急救助司令長を設ける。 東消防署本署に予防係を設ける。
	10月	小型動力ポンプ積載車（11台）を購入する。
	11月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。
平成17年	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 東消防署本宿出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署本宿出張所の業務を開始する。 職員9人を増員、実員329人とする。 各消防署本署に担当署長を設ける。 出張所の出張所長補佐を廃止し、警防司令を設ける。
	9月	連絡車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。

平成17年	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 6台）を購入する。
	11月	起震車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 2台）を購入する。
平成18年	1月	平成18年1月1日額田町との合併により消防団21団、定員1,517人となる。 防火広報車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員9人を増員、実員338人とする。 庶務課を総務課に改める。 予防課予防調査班を予防班に改める。 中消防署本署及び東消防署本署の予防係を廃止し、中消防署本署に指揮調査係を設置、指揮調査司令長、指揮調査司令を設ける。
	7月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
平成19年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 4台）を購入する。
	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	3月	指揮指令車（1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員343人とする。 各消防署本署の担当署長を本署長に改める。 市役所東庁舎7階にて新通信指令システムの運用を開始する。
	9月	小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
	10月	広報連絡車（1台）を購入する。
平成20年	1月	小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防用無線機3基を消防団車庫警備室へ配備する。
	4月	職員7人を増員、実員350人とする。 各分署に救急司令を設ける。
	8月	岡崎市消防支援隊を発足する。
	9月	広報車（2台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	12月	消防二輪車（3台）を購入する。
平成21年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型1台）を購入する。

平成21年	3月	救助工作車（Ⅲ型 1台）を購入する。 東消防署形埜出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署形埜出張所の業務を開始する。 職員14人を増員、実員364人とする。 各消防署本署の本署長を廃止し、本署課長を設ける。
	9月	救助用資機材、テロ対策用特殊救助資機材、高度救助用資機材（一式）を購入する。
	10月	高度救助隊「岡崎スーパーレスキュー」を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
平成22年	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。 高所活動車（1台）を購入する。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（I型 1台）を購入する。
	4月	各消防署本署の警防司令長及び救急救助司令長を廃止し司令長とする。
	5月	消防本部旗の寄贈を受ける。
	10月	消防団協力事業所表示制度を導入する。
	12月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（B-2級 1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型 1台）を購入する。
平成23年	1月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
	2月	支援車（I型 1台）が総務省から無償で配備される。
	4月	中消防署本署に管理司令長及び管理司令を設ける。 機能別消防団員制度を岩津消防団の一部地域と額田消防団に導入する。
平成24年	1月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	3月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。 救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型 2台）を購入する。
	8月	消防旗の寄贈を受ける。
	10月	「メール119」の運用を開始する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
平成25年	1月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	2月	資機材搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。
	3月	大型水陸両用車（1台）が総務省から無償で配備される。 大型水陸両用車専用搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。 可搬型衛星地球局「VSAT」（1台）が総務省から無償で配備される。
	7月	岡崎市消防団員応援事業所制度を導入する。

平成25年	10月	消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。
	12月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 2台）を購入する。
平成26年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 救助資機材搭載型車両（1台）及び消防団拠点資機材（一式）が 総務省から無償で貸付される。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（I型 1台）を購入する。
	4月	通信指令室にシステム担当を設ける。 各消防署本署の警防司令を警防救助司令に改める。 指揮調査司令を廃止する。
	5月	幼年消防クラブを発足する。
	9月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（II型 1台）を購入する。 軽消防広報車（1台）を購入する。 機能別消防団員制度を常磐消防団の一部地域に導入する。
平成27年	2月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 はしご付消防自動車（54m級 1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員369人とする。 消防課の消防班及び教養班を統合し消防企画班とする。 各消防署本署の警防係及び救助係を統合し警防救助係とする。 中消防署の管理司令長及び管理司令を廃止する。 防災防犯協会の業務を予防課から市長公室防災危機管理課に移管する。
	9月	消防広報車（2台）を購入する。
	10月	特別消火隊を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 高規格救急自動車（2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（II型 1台）を購入する。
平成28年	1月	額田消防団第8部小型動力ポンプ軽積載車（1台）を消防本部に移管する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員372人とする。 予防課に特別査察班を設置する。 消防救急デジタル無線の運用を開始する。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。 額田消防団第6部消防ポンプ自動車（1台）を額田消防団第9部に移管する。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	11月	消防広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。

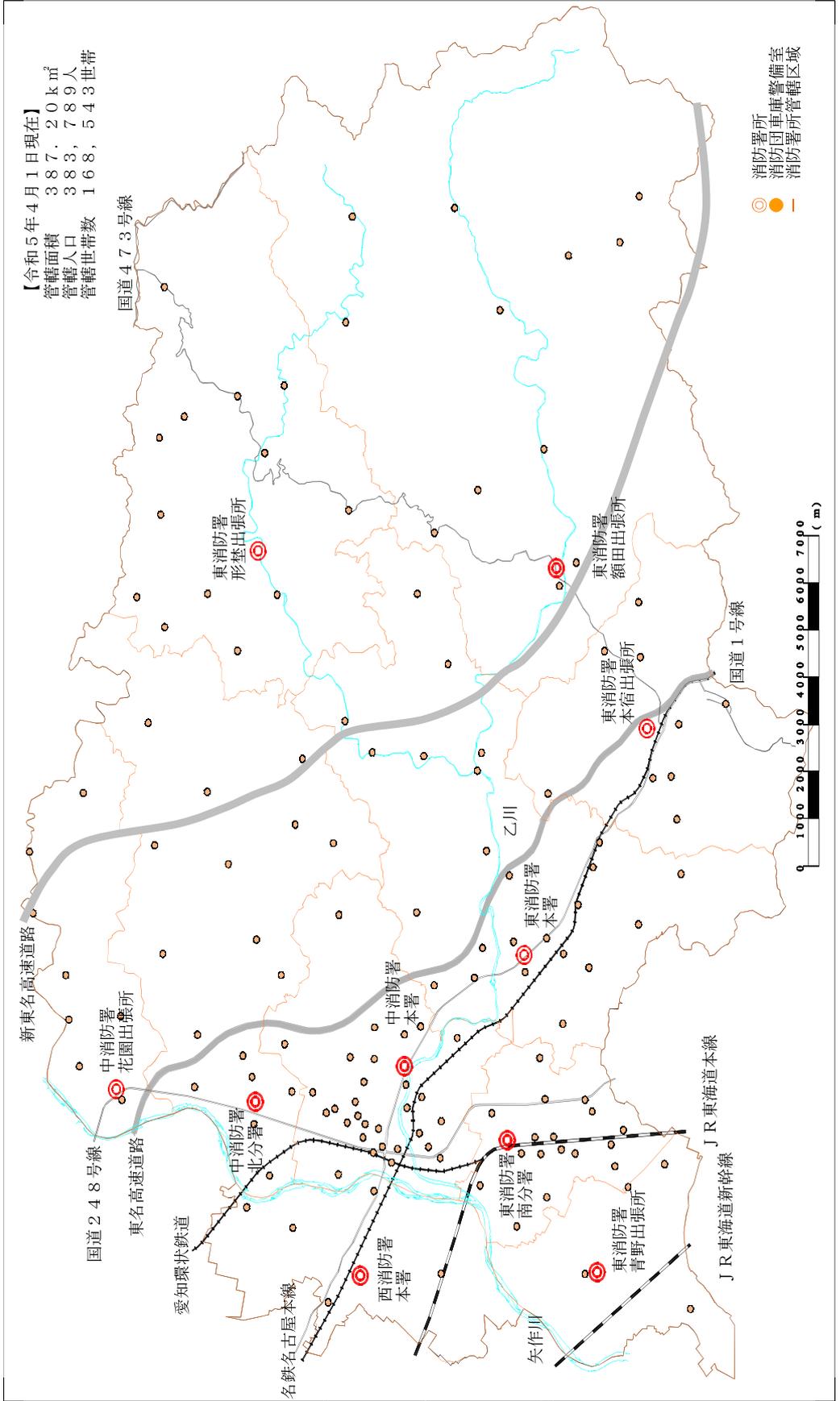
平成29年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 7台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員375人とする。 消防本部の班制を係制に移行する。 警防救助司令、警防司令、救急司令を廃止する。 消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 はしご付消防自動車（40m級 1台）を購入する。
平成30年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I－A型 1台）を購入する。
	4月	通信指令室を共同通信課とし、幸田町と消防指令業務の共同運用を開始する。 職員7人を増員、実員382人とする。 (幸田町から共同通信課への出向者4名を含む。市民生活部防災課への出向者3人を除く。) 指揮調査司令長を廃止する。 東消防署本署に指揮調査係を設置する。 消防団大学生等活動認証制度を導入する。
	9月	消防広報車（1台）を購入する。
	11月	消防広報車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。
平成31年	4月	中消防署本署及び東消防署本署に予防管理係を設置する。 職員4人を増員、実員386人とする。
令和元年	11月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
令和2年	1月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－I型 1台）を購入する。
	3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	中消防署本署の警防救助係を警防係及び救助係に再編する。 職員1人を増員、実員387人とする。 共同通信課を3係編成とする。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
令和3年	1月	水槽付消防ポンプ自動車（水I－B型 1台）を購入する。
	3月	無人航空機（ドローン）（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員1人を増員、実員388人とする。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。

- | | | |
|------|-----|-----------------------------|
| 令和4年 | 3月 | 小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 |
| | | 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 |
| | 4月 | 西消防署本署に予防管理係を設置する。 |
| | | 職員1人を増員、実員389人とする。 |
| | | 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。TUWA号 |
| | 6月 | 消防課連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。 |
| | 12月 | 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 |
| 令和5年 | 3月 | 小型動力ポンプ付積載車（2台）を購入する。 |
| | | 指揮指令車（1台）を購入する。 |
| | | 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 |
| | 4月 | 職員3人を増員、実員392人とする。 |

岡崎市及び岡崎消防のあらまし

歴史と伝説に恵まれた岡崎市は、愛知県のほぼ中央に位置し三河高原から連なる丘陵地と矢作川、乙川流域に広がる平野部からなっており、国道1号線、同248号線、東名高速道路及び新東名高速道路が主幹道路として市内を縦断し、JR東海道本線、同新幹線、愛知環状鉄道、名鉄名古屋本線等交通網が充実しており、教育、文化、産業、経済などさまざまな分野で西三河の中心都市としての役割を果たし「人、水、緑が輝く 活気に満ちた 美しい都市 岡崎」をめざし発展を続けています。

岡崎消防は、本部1、消防署3、分署2、出張所5、職員392人、指揮指令車2台、消防ポンプ車2台、消防ポンプ車15台、救急車15台、はしご車4台、高所活動車1台、化学車2台、水槽車4台、救助工作車3台、支援車1台、大型水陸両用車1台、消防二輪車3台、その他広報車等38台を有する常備消防と21消防団1,471人、消防ポンプ車4台、小型動力ポンプ付積載車32台、小型動力ポンプ積載車63台、軽積載車13台、小型動力ポンプ84台をもって構成し都市の発展に伴って発生する各種災害に備えて、近代消防としての充実に努めています。



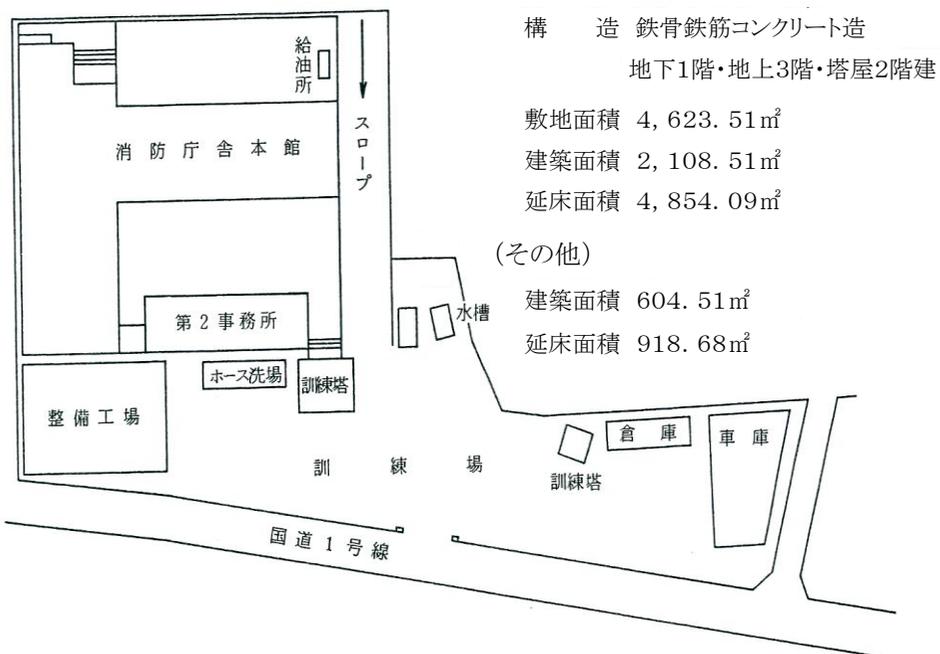
消 防 庁 舎

1 消防本部・中消防署 本署

郵便番号	444-0022		
所在地	岡崎市朝日町3丁目4番地	TEL	(0564)21-5151
メールアドレス	nakasho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)26-0373



庁舎配置図



2 中消防署 北分署

郵便番号	444-2133				
所在地	岡崎市井ノ口町字楼65番地	TEL	(0564)24-0119		
メールアドレス	kitafd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)25-9492		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,616.78㎡	
	建築面積	458.57㎡	その他	建築面積	77.48㎡
	延面積	510.35㎡		延面積	116.58㎡



3 中消防署 花園出張所

郵便番号	444-2148				
所在地	岡崎市仁木町字川越254番地	TEL	(0564)66-8119		
メールアドレス	hanazonofd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)66-8120		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,411.00㎡	
	建築面積	232.23㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	306.17㎡		延面積	--- ㎡



4 東消防署 本署

郵便番号	444-0005		
所在地	岡崎市岡町字下河原25番地4	TEL	(0564)53-0119
メールアドレス	higashisho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)55-9690



庁舎配置図

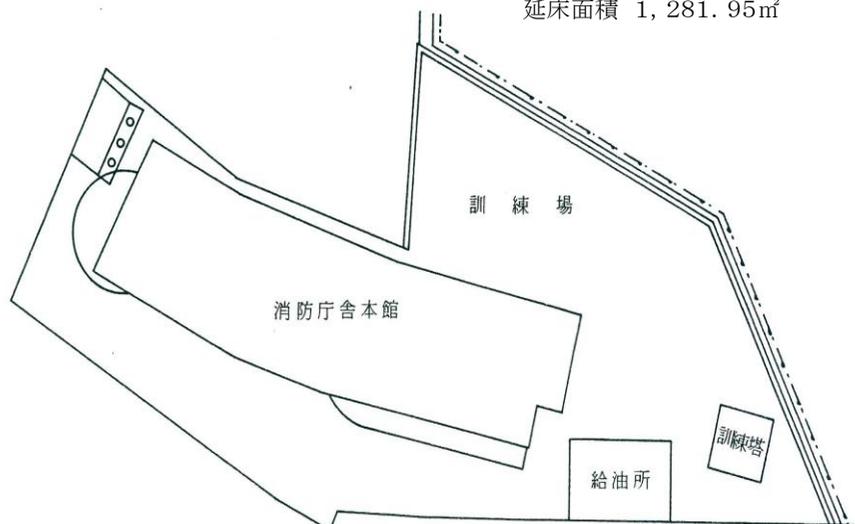
(本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建
塔屋訓練塔設置

敷地面積 2,600.70㎡

建築面積 686.82㎡

延床面積 1,281.95㎡



5 東消防署 南分署

郵便番号	444-0836				
所在地	岡崎市中田町2番地2	TEL	(0564)54-0119		
メールアドレス	minamifd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)55-9691		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,269.86㎡	
	建築面積	523.12㎡	その他	建築面積	43.41㎡
	延面積	586.76㎡		延面積	86.82㎡



6 東消防署 青野出張所

郵便番号	444-0244				
所在地	岡崎市下青野町字宮東49番地	TEL	(0564)43-6119		
メールアドレス	aonofd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)43-1591		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	2,117.18㎡	
	建築面積	340.21㎡	その他	建築面積	21.00㎡
	延面積	449.10㎡		延面積	21.00㎡



7 東消防署 額田出張所

郵便番号	444-3622				
所在地	岡崎市榎山町字山ノ神21番地12	TEL	(0564)82-4119		
メールアドレス	nukatafd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)85-1060		
本館	構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建	敷地面積	1,940.77㎡	
	建築面積	449.71㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	648.25㎡		延面積	--- ㎡



8 東消防署 本宿出張所

郵便番号	444-3505				
所在地	岡崎市本宿町字西片山30番地1	TEL	(0564)48-1119		
メールアドレス	motojukufd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)48-1120		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	2,103.85㎡	
	建築面積	452.80㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	586.83㎡		延面積	--- ㎡



9 東消防署 形埜出張所

郵便番号	444-3443				
所在地	岡崎市鍛埜町字中切22番地6		TEL	(0564)85-3119	
メールアドレス	katanofd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)84-3119	
本館	構造	鉄骨造2階建	敷地面積	2,152.53㎡	
	建築面積	424.22㎡	その他	建築面積	22.68㎡
	延面積	664.50㎡		延面積	17.05㎡



10 西消防署 本署

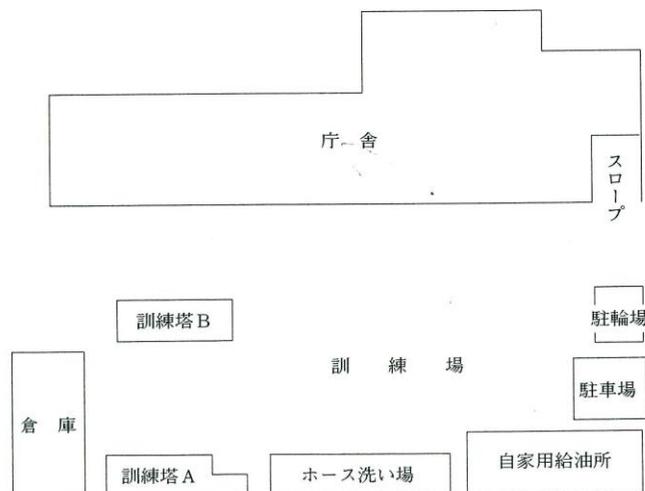
郵便番号	444-0941		
所在地	岡崎市暮戸町字元社口42番地	TEL	(0564)34-0119
メールアドレス	nishisho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)31-1099



庁舎配置図

(本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建
 敷地面積 2,583.60㎡
 建築面積 659.48㎡
 延床面積 1,231.99㎡



令和4年度消防のあゆみ

令和4年

4月

- 1日 消防団正副団長辞令交付式
- 6日 消防二輪車実技研修（及び7日） (キョウセイ交通大学)
- 11日 消防職員安全運転実技研修（12日、13日及び14日） (キョウセイ交通大学)
- 12日 高規格救急自動車1台 更新配備
（東消防署南分署 南救急1号車）
- 15日 第1回消防団長会議
- 20日 潜水指導員会議 (西消防署本署)
- 20日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第1回理事会 (岡崎市消防本部)
- 24日 岡崎市消防団初任者・幹部研修 (岡崎中央総合公園)
- 25日 潜水基本訓練（～6月17日） (中消防署本署)
- 27日 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会 第1回会長会議 (岡崎市消防本部)

5月

- 1日 春の消防施設整備清掃（～31日）
- 10日 乙川水難救助訓練（～30日） (岡崎公園乙川河川緑地)
- 13日 愛知県消防長会予防担当課長会議 (岩倉市消防本部)
- 15日 岡崎市消防団消防操法大会 (岡崎中央総合公園)
- 16日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 19日 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会 定期総会 (図書館交流プラザ りぶら)
- 20日 岡崎市危険物保安連絡協議会 定期総会 (図書館交流プラザ りぶら)

6月

- 5日 危険物安全週間（～11日）
- 7日 岡崎市新規採用職員研修（令和3年度採用行政職）（及び8日）
- 11日 第1回危険物取扱者試験予備講習会（岡崎市消防本部）
- 12日 消防職員救急症例検討会（～30日）
- 15日 岡崎市消防本部土砂・風水害対応救助訓練（及び16日）（箱柳町 岡崎市総合現業事務所敷地内）
- 17日 岡崎市危険物保安連絡協議会 消防機械器具取扱講習会（岡崎市消防本部）
- 19日 消防団機関班養成講習
- 21日 岡崎市新規採用職員研修（令和3年度採用保育職）（～23日）
- 24日 警防本部・署隊本部運用訓練（～7月21日までの間の内6日間）（岡崎幸田消防指令センター等）
- 24日 第2回消防団長会議
- 25日 潜水救助隊員再任研修（中消防署本署）
- 28日 消防課連絡車1台 更新配備

7月

- 8日 岡崎市少年消防クラブ指導委員会（図書館交流プラザ りぶら）
- 10日 第16回消防団安全運転実技研修（キョウセイ交通大学）
- 15日 中部電力合同研修会（岡崎市消防本部）
- 26日 消防職員委員会
- 28日 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会 第2回会長会議・クラブ活動研修会（岡崎市消防本部）
- 30日 第50回消防救助技術東海地区指導会（名古屋市 イオンモール熱田店）
- 31日 愛知県消防操法大会出場部激励会（矢作西小学校）

8月

- 1日 部隊運用訓練（2日、8日及び9日）（中止） （愛知産業大学三河高等学校）
- 1日 第1回消防職員育成合同訓練（～9月30日）（中止） （各署所）
- 6日 愛知県消防操法大会 （常滑市）
- 6日 岡崎城下家康公夏まつり第74回花火大会消防警備
- 9日 岡崎市少年消防クラブ員愛知県消防学校一日入校 （愛知県消防学校）
- 13日 市役所庁用車駐車場救助訓練（及び14日） （両町）
- 17日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第2回理事会（書面会議）
- 18日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 19日 西三河予防行政研究会 （幸田町消防本部）
- 19日 流水救助訓練（～8月22日）（中止） （舳越町 矢作川日名橋河川緑地）
- 21日 消防団救助機械器具取扱訓練
- 23日 愛知県消防広域応援基本計画検証訓練（図上訓練）
- 24日 第3回消防団長会議
- 26日 第50回全国消防救助技術大会 （東京都 立川市）
- 28日 岡崎市地域総合防災訓練

9月

- 1日 「防災の日」
- 1日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（図上訓練）
- 1日 潜水応用救助訓練（～30日） （桑原町 巴川カヌー練習場）
- 2日 少年消防クラブ防火作品審査会 （消防本部・教育委員会）
- 10日 女性消防クラブ指導者科1日入校 （愛知県消防学校）
- 12日 名古屋市消防航空隊合同訓練 （一畑山薬師寺牛乗山・岡崎中央総合公園）
- 25日 第16回消防団員消防技術発表会 （康生町 乙川河川緑地）
- 27日 豊田市消防本部足助消防署訓練施設を使用した救助訓練 （豊田市 豊田市消防本部足助消防署）

10月

- 1日 秋の消防施設整備清掃（～31日）
- 1日 第23回消防職員救急技術発表会（～31日）
- 1日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 11日 集団災害訓練（東消防署本署）
- 12日 新任潜水基本訓練（13日・27日・28日）（西消防署本署、岡崎城西高校、龍谷池）
- 14日 愛知県消防長会予防担当課長会議（知多南部消防組合消防本部）
- 14日 第4回消防団長会議
- 15日 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（滋賀県）
- 20日 岡崎市危険物保安連絡協議会 初期消火技術発表会（岡崎中央総合公園）
- 26日 高圧ガス基礎研修会（岡崎市消防本部）
- 30日 第15回消防団員震災・風水害研修（中消防署本署）

11月

- 1日 岡崎市危険物保安連絡協議会 研修会（eラーニング）（～30日）
- 2日 イオンモール岡崎高所救助訓練（戸崎町 イオンモール岡崎）
- 2日 警察消防殉職者慰霊祭（名古屋市）
- 5日 消防職員家康行列警備
- 9日 秋の火災予防運動（～15日）
- 12日 第6回緊急消防援助隊全国合同訓練（及び13日）（静岡県）
- 18日 岡崎市少年・幼年消防クラブ員防火作品展（～12月2日）（図書館交流プラザ りぶら）
- 20日 岡崎市消防団連合観閲式（康生町 乙川河川緑地）
- 24日 次世代自動車研修会（岡崎市消防本部）
- 28日 名古屋市航空機隊合同訓練及び夜間離着陸訓練（中止）（岡崎中央総合公園多目的広場）

12月

- 1日 消防職員救急症例検討会（～28日）
- 6日 岡崎市新規採用職員研修（令和4年度採用行政職）（及び7日）
- 11日 小型動力ポンプ軽積載車5台 更新配備
（美合消防団第4部、本宿消防団第3部
常磐消防団第3部、岩津消防団第6部
岩津消防団第10部）
- 12日 第1回高速道路活動検討会（岡崎市消防本部）
- 15日 第5回消防団長会議
- 17日 第2回危険物取扱者試験予備講習会（岡崎市消防本部）
- 20日 西三河地区合同訓練（西尾市消防本部 本署）
- 22日 岡崎市消防職員意見発表会
- 28日 歳末消防特別警戒及び消防特別巡回（～30日）

令和5年

1月

- 8日 岡崎市消防出初式（康生町 乙川河川緑地）
- 19日 愛知県警防技術交換会（名古屋市消防学校）
- 21日 中央クリーンセンターを利用した消防訓練（板田町）
- 24日 岡崎市新規採用職員研修（令和4年度採用保育職）（及び25日）
- 29日 文化財火災防御訓練（伊賀町 伊賀八幡宮）

2月

- 1日 消防職員安全運転講習会（～23日）
- 1日 消防職員救急症例検討会（～19日）
- 2日 第6回消防団長会議
- 8日 岡崎市危険物保安連絡協議会 普通救命講習（9日、10日、16日及び17日） （岡崎市消防本部）
- 10日 西三河地区消防職員意見発表会 （幸田町 幸田町民会館）
- 11日 滝山寺鬼祭り警備
- 14日 電気事故災害対応訓練（～17日） （中部電力パワーグリッド株式会社八帖訓練場）
- 16日 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会 第3回会長会議 （岡崎市消防本部）
- 20日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第3回理事会（書面会議）
- 22日 特別消火隊 名古屋市消防学校訓練 （名古屋市消防学校）
- 27日 豊田市消防本部足助消防署訓練施設を使用した救助訓練 （豊田市消防本部足助消防署）

3月

- 1日 春の火災予防運動（～7日）
- 1日 岡崎警察管区機動隊との合同救助訓練 （中消防署本署）
- 5日 大規模災害防御訓練 （明大寺町 自然科学研究機構構山手地区）
- 6日 第2回高速道路活動検討会 （岡崎市消防本部）
- 12日 消防団機械器具取扱訓練
- 12日 小型動力ポンプ付積載車2台 更新配備
（矢作消防団第2部、額田消防団第1部）
- 12日 小型動力ポンプ（B-3級 2台） 更新配備
（藤川消防団第2部、本宿消防団第3部）
- 14日 大型水陸両用車豊川駐屯地演習場走行訓練 （豊川市 陸上自衛隊豊川駐屯地）
- 29日 東指揮指令車1台 更新配備

消 防 予 算

近年の消防を取り巻く環境として、複雑多様化する災害や救急出動件数の増大、南海トラフ巨大地震及び局地的な豪雨などの自然災害への対応が挙げられる。これらの諸災害に迅速かつ的確に対処するため、消防体制の充実強化に万全を期す。

常備消防にあつては、職務遂行に必要な知識の習得、技術の錬磨を図るため、引き続き職員研修等を実施し資質の向上に努めるとともに、はしご付消防自動車及び救急自動車の更新配備をはじめ、災害活動用機械器具の整備充実を図る。

非常備消防については、小型動力ポンプや救助用資機材の配備等消防力の充実を図るとともに、消防団員の処遇改善を行うなど士気の高揚を図る。

その他、消火栓及び防火水そう等消防水利の新設を行うなど消防施設の充実強化に努めるとともに、各種訓練、防災講習会及び啓発活動などを通じて自主防災組織の育成・強化及び市民の防災意識高揚を図る。

1 当初予算額の比較

(単位：千円)

年 度		令和4年度当初予算	令和5年度当初予算	増減比(%)
区 分				
市一般会計歳出予算額		127,880,000	134,220,000	5.0
消 防 費		4,436,965	4,359,263	△ 1.8
内 訳	常 備 消 防 費	3,272,193	3,384,641	3.4
	非 常 備 消 防 費	218,508	267,500	22.4
	消 防 施 設 費	676,161	424,951	△ 37.2
	災 害 対 策 費	263,593	268,759	2.0
	水 防 費	6,510	13,412	106.0

△印は減を示す

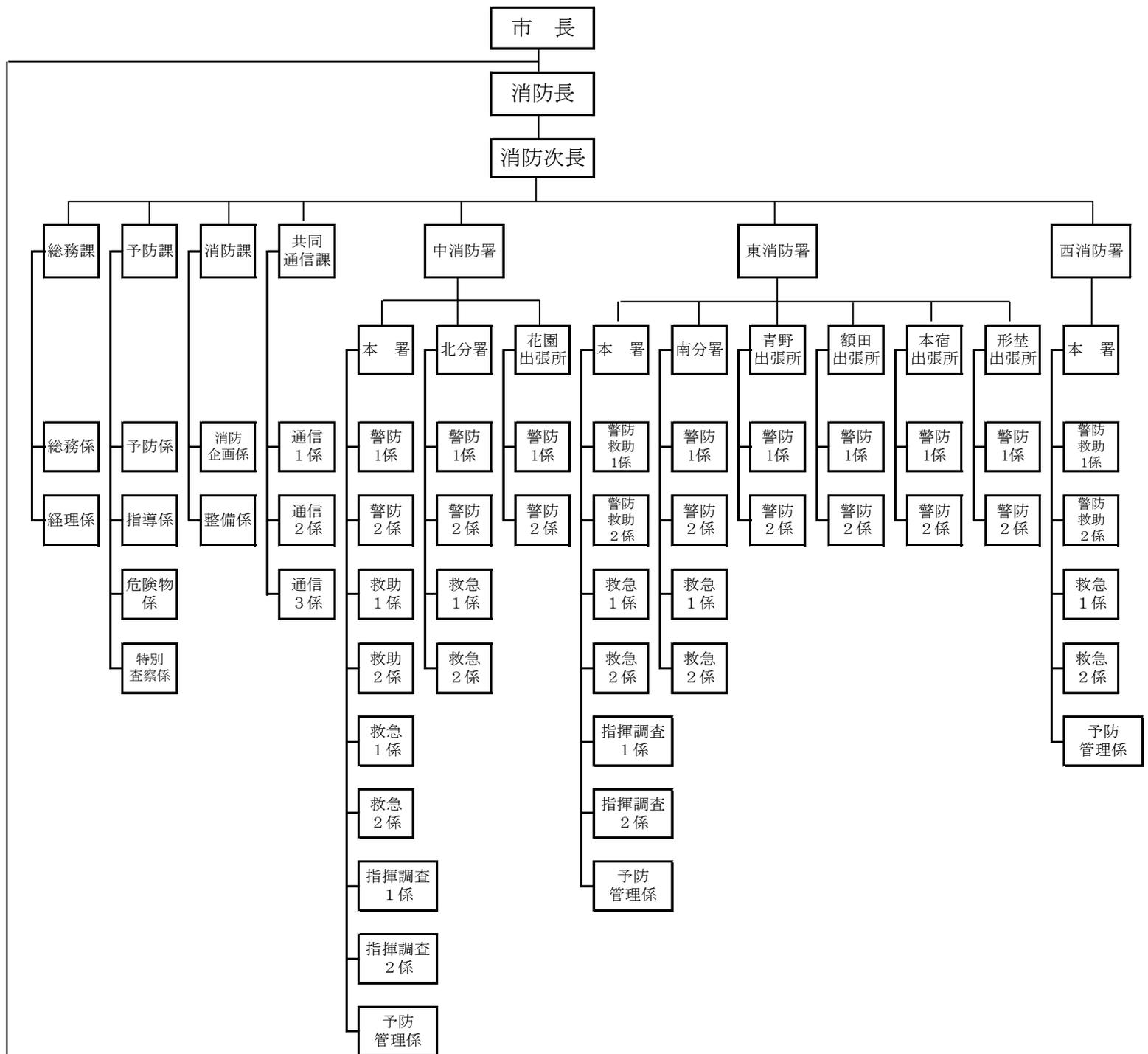
2 最近5年間における一般会計との比較

(単位：千円)

年 度	区 分	市一般会計歳出決算額	消防費歳出決算額	構成比(%)
平成29年度		121,347,193	4,761,416	3.9
平成30年度		121,139,847	3,755,924	3.1
平成31年度		131,165,549	4,037,513	3.1
令和2年度		170,969,073	3,967,973	2.3
令和3年度		140,662,822	3,825,989	2.7

消 防 機 構

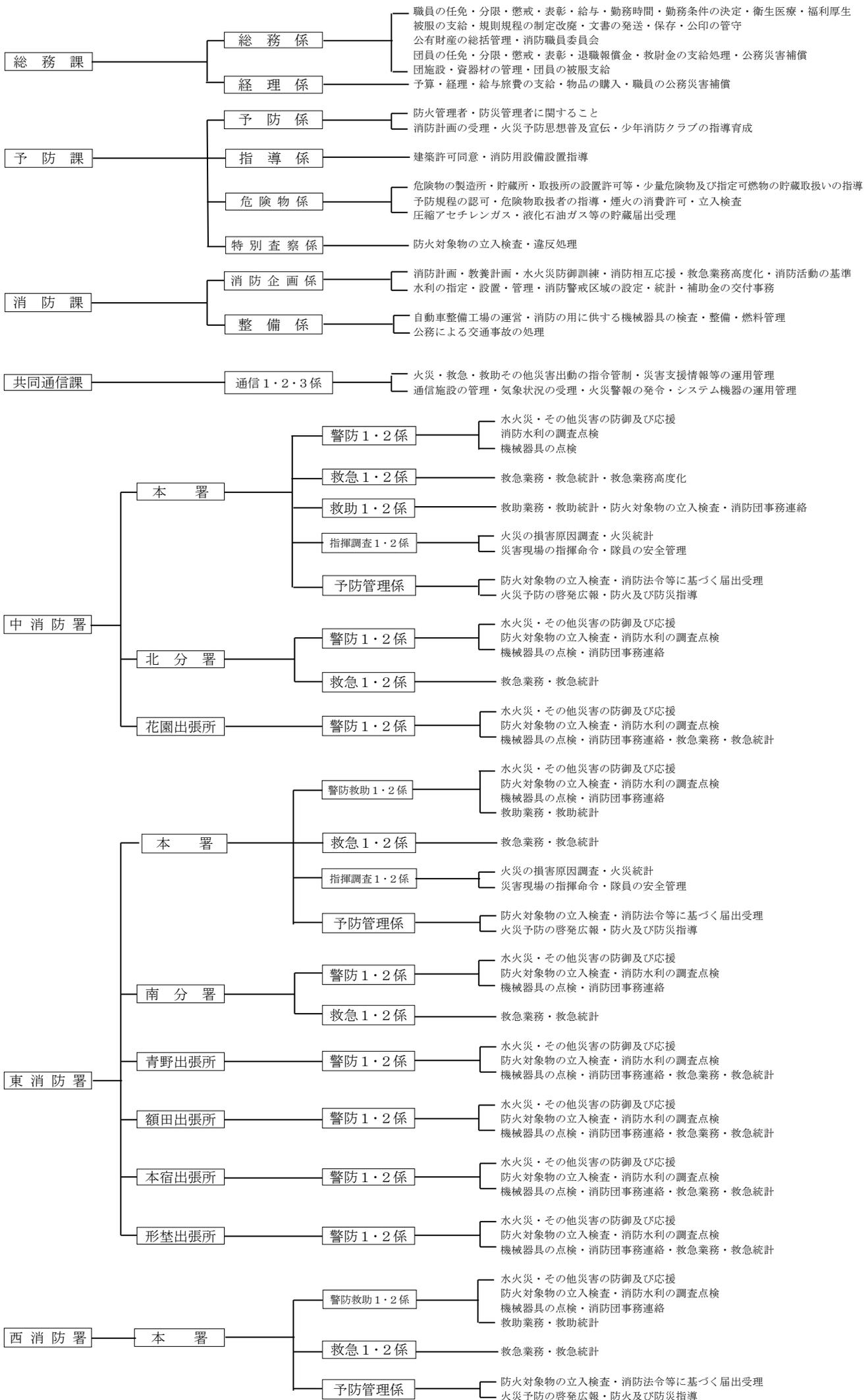
令和5年4月1日現在



消防団
(21団)

団 名	部数	団 名	部数	団 名	部数
広幡消防団	7	岡崎消防団	5	本宿消防団	3
連尺消防団	4	美合消防団	4	河合消防団	5
梅園消防団	3	男川消防団	5	常磐消防団	7
根石消防団	3	福岡消防団	5	岩津消防団	13
三島消防団	4	竜谷消防団	3	矢作消防団	5
六名消防団	4	藤川消防団	3	六ツ美消防団	4
羽根消防団	4	山中消防団	3	額田消防団	13
				合 計	107

事務分掌



消 防 現 勢

1 職員現有人員

令和5年4月1日現在

区 分	実 員
消 防 本 部	68人
中 消 防 署	114人
東 消 防 署	165人
西 消 防 署	45人
合 計	392人

※幸田町消防本部から共同通信課への出向者4人を含む。

※市民生活部防災課への出向者3人を除く。

※再任用職員除く。

2 職員の配置状況

令和5年4月1日現在

階級別	消 防 吏 員									計		
	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員			
消防本部	消防長	1									1	
	消防次長		1								1	
	総務課	課長		1								13
		総務係			1		4	3				
	予防課	経理係					2	1	1			18
		課長		1								
		予防係			1		1	1	1		1	
		指導係					1	2	1			
	消防課	危険物特別査察係					1	2		1		12
		課長		1								
		消防企画係			1		4	3				
	共同通信課	整備係				1	1	1				23
		課長		1								
通信1係				2		2	2	2				
中消防署	通信2係			1		2	2	2			23	
	通信3係			1		2	2	1	1			
	合計											
	中消防署長		1								72	
	本署	副署長兼務1課長			1							
		警防1係				1	2	2	4	5		
		救急1係					1	1	3	2		
		救助1係			1		1	1	3	2		
		指揮調査1係					1	1	1	1		
		予防管理係					1		1	1		
		2課長			1							
		警防2係				1	1	2	2	3		6
		救急2係					1	1	3	2		
救助2係					1	1	3	2				
指揮調査2係					1	1	1	1				
北分署	分署長			1								25
	警防1係				1	1	1	2	2			
	救急1係					1	1	1	2			
	警防2係					1	1	1	2	2		
花園出張所	救急2係				1	1	1	1	2			
	出張所長			1								
東消防署	警防1係					2	1	3	2		17	
	警防2係					2	1	3	2			
	東消防署長		1								54	
	本署	副署長兼務1課長			1							
		警防救助1係				1	2	4	3	4		
		救急1係					1	2	1	1		
		指揮調査1係					3	1				
		予防管理係					1	1	1			
		2課長			1							
		警防救助2係				1	1	2	4	3		4
		救急2係					1	2	2	1		1
	指揮調査2係					3	1					
	南分署	分署長			1							
警防1係					1	1	2	4	2			
救急1係						2	2	1	1			
警防2係						1	2	1	4	2		
青野出張所	救急2係				1		3	1	1			
	出張所長			1								
額田出張所	警防1係				1	1	3	4	2		23	
	警防2係					1	1	2	5	2		
本宿出張所	出張所長			1							17	
	警防1係					2	1	3	2			
形埜出張所	警防2係					2	1	3	2			
	出張所長			1								
形埜出張所	警防1係					2	1	2	2		15	
	警防2係					2	1	2	2			
西消防署	西消防署長		1								45	
	本署	1課長			1							
		警防救助1係				1	2	3	3	4		
		救急1係					1	1	2	2		
		予防管理係					1	1	1	1		
		副署長兼務2課長			1							
警防救助2係				1	1	2	2	3	4			
救急2係					1	1	2	2				
合計	1	8	26	31	74	91	99	61	1	392		

3 消防吏員の勤務年数状況

令和5年4月1日

階級別 年 数	計	消	消	消	消	消	消	消	消
		防 正 監	防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士
人 員	391	1	8	26	31	74	91	99	61
平 均 年 数	15.2	36.0	35.5	30.4	26.9	21.1	15.2	9.0	2.4
1 年 未 満	16								16
1 年 以 上 5 年 未 満	33								33
5 " 10 "	76							64	12
10 " 15 "	78						44	34	
15 " 20 "	68					27	40	1	
20 " 25 "	48			2	8	31	7		
25 " 30 "	41			10	15	16			
30 " 35 "	19		3	8	8				
35 年 以 上	12	1	5	6					

4 消防吏員の年齢状況

令和5年4月1日

階級別 年 齢	計	消	消	消	消	消	消	消	消
		防 正 監	防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士
人 員	391	1	8	26	31	74	91	99	61
平 均 年 齢	35.9	58.0	56.6	51.3	48.5	42.1	36.4	29.2	22.4
18 歳 以 上 20 歳 未 満	11								11
20 " 25 "	35								35
25 " 30 "	74							59	15
30 " 35 "	53						15	38	
35 " 40 "	88					13	73	2	
40 " 45 "	52					49	3		
45 " 50 "	43			8	23	12			
50 " 55 "	23		2	13	8				
55 " 60 "	12	1	6	5					

5 消防吏員の免許等資格所有状況

令和5年4月1日

階級別 種別	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
大型特殊自動車免許	114		3	11	14	31	39	11	5
大型自動車免許	349	1	8	26	30	74	91	94	25
中型自動車免許	225	1	8	26	31	74	77	5	3
準中型自動車免許	120				1		16	97	6
普通自動車免許	49							1	48
自動2輪車免許	198		5	12	18	49	55	47	12
小型船舶操縦士	68		2	5	9	25	15	9	3
危険物取扱者免状	207	1	6	14	15	49	60	45	17
第1級陸上特殊無線技士	8			1		4	3		
第2級陸上特殊無線技士	295	1		2	8	57	91	97	39
第3級陸上特殊無線技士	60		3	16	23	17	1		
2級自動車整備士	11			1	3	5	2		
3級自動車整備士	29	1	1	4	5	10	5	2	1
予防技術資格者	28		1	6	3	11	7		
救急救命士	118		4	16	15	26	28	19	10
救急科救急Ⅱ課程・ 標準課程・救急課程	337	1	8	26	31	74	87	91	19
救助隊員資格	73	1	8	14	15	21	14		
潜水士免許	124		3	7	11	44	33	20	6
水上安全法救助員適任証	5			1		1	3		
酸素欠乏危険作業主任者 講習修了証	36			4	3	12	13	4	
小型移動式クレーン技能講習 修了証	162		2	5	12	41	55	41	6
玉掛技能講習修了証	318		3	6	16	61	89	99	44
衛生管理者免許	13	1	1	2	1	3	5		

消防吏員391人

消防機械配備状況

1 配備状況一覧表

令和5年4月1日

種別	計	はしご付消防自動車	はしご付消防自動車	はしご付消防ポンプ自動車	屈折はしご付消防ポンプ自動車	高所活動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付水槽車	救助ポンプ自動車	救急自動車	広報自動車	予防自動車	連絡自動車	指揮指指令車	支援車	大型水陸両用車	大型水陸両用車専用搬送車	起震車	資材運搬車	本部車	人員輸送車	消防員輸送車	小型動力ポンプ
		54m	40m	40m	25m	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車
計	84	1	1	1	1	1	10	5	2	4	3	15	18	4	4	2	1	1	1	1	3	1	1	3	3
消防本部	総務課	4											1		2							1			
	予防課	6											1	4						1					
	消防課	7											4		1							2			3
	共同通信課	0																							
中消防署	本署	18	1				1	1	1	1	1	3	1		1	1	1	1	1		1		1	1	
	北分署	5				1	1	1				1	1												
	花園出張所	3					1					1	1												
東消防署	本署	11			1		1	1		1	1	2	2			1									1
	南分署	6			1		1	1				2	1												
	青野出張所	3					1					1	1												
	額田出張所	4					1			1		1	1												
	本宿出張所	3					1					1	1												
	形埜出張所	3					1					1	1												
西消防署本署	11		1				1	1	1	1	1	2	2											1	

2 消防本部・消防署機械配備

令和5年4月1日

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過 年 数	艀 装 社 名 等
				型 式			
消 防 本 部	本部車	岡崎 300す9304	乗用車	トヨタ DBA-GRS202	H20.5	14	愛知 トヨタ
	総務課連絡1号車	岡崎 500せ7469	連絡車	三菱 DBA-Z23W	H20.10	14	愛知中央 三菱
	総務課連絡2号車	岡崎 300さ7450	〃	トヨタ GF-RZH111G	H13.5	21	愛知 トヨタ
	消防課連絡車	岡崎 300は8526	〃	ニッサン 3BA-KS8E26	R4.6	0	三河日産
	広報1号車	岡崎 800さ157	広報車	トヨタ GF-AT211	H14.2	21	愛知 トヨタ
	広報2号車	岡崎 800さ2599	〃	トヨタ LDF-KDY231	H30.9	4	〃
	広報3号車	岡崎 800さ131	〃	トヨタ CBF-TRH200V	H18.1	17	名古屋 トヨペット
	広報4号車	岡崎 880あ44	〃	三菱 GBD-U62V改	H21.1	14	平和機械
	広報5号車	岡崎 800さ2273	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28.11	6	ネットトヨタ 愛知
	予防1号車	岡崎 800さ2908	予防車	トヨタ 6AA-NHP170G	R2.8	2	ネットトヨタ 愛知
	予防2号車	岡崎 880あ166	〃	ダイハツ EBD-S211P	H26.12	8	三河 ダイハツ
	予防4号車	岡崎 800さ2337	〃	三菱 DBA-GA4W	H29.4	5	中部三菱
	予防5号車	岡崎 800さ2274	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28.11	6	ネットトヨタ 愛知
	起震車	岡崎 800さ85	起震車	いすゞ PB-FRR35H3	H17.11	17	カヤバ
	防火広報車	岡崎 800さ79	広報車	ニッサン LC-VPE25	H15.11	19	三河日産
	防災車	岡崎 800さ117	資材運搬車	三菱 PA-FE83DEY	H17.2	18	三菱 ふそう
	資機材運搬車	岡崎 100さ644	〃	三菱 PA-FE82DE	H18.9	16	〃
			小型動力ポンプ	シバウラ FZ700	H28.12	6	
			〃	トーハツ VC52B	H17.9	17	
			〃	トーハツ VC52B	H17.9	17	

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過	艀 装 社名等
				型 式			
中 本 消 署 防 署	中はしご車	岡 崎 800は141	はしご付消防 自動車 (54m)	日 野 QPG-FW1AXEG改	H 27.3	8	モリタ
	中 1 号 車	岡 崎 800は237	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 2KG-GX2ABA	R3. 1	2	日 本 ドライ
	中 2 号 車	岡 崎 800さ2797	消防ポンプ自動車	日 野 2RG-XZU640M	R2.1	3	〃
	中 水 槽 車	岡 崎 800は155	小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	い す ゞ QDG-FVZ34U2	H27.12	7	〃
				シバウラ FZ700	H27.12	7	
	中 化 学 車	岡 崎 800は77	化 学 消 防 ポンプ自動車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 1	14	〃
	中救助工作車	岡 崎 800は82	救 助 工 作 車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 3	14	平和機械
	中救急1号車	岡 崎 800さ2269	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.10	6	愛 知 トヨタ
	中救急2号車	岡 崎 800さ2441	〃	トヨタ CBF-TRH226S	H29.10	5	〃
	中救急4号車	岡 崎 800さ1827	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ CBF-TRH226S	H26. 1	9	愛 知 トヨタ
	人員輸送車	岡 崎 200さ12	マイクロバス 29人乗	三 菱 KK-BE63EG	H16. 2	19	三 菱 ふそう
	中 広 報 車	岡 崎 800さ118	広 報 車	ニッサン CBF-VHNY11	H18. 7	16	三河日産
	中連絡車	岡 崎 480あ2044	連 絡 車	三 菱 GBD-U61V	H19.4	17	中部三菱
	中指揮指令車	岡 崎 800さ248	指 揮 指 令 車	トヨタ CBF-TRH226S	H19. 3	16	平和機械
	支 援 車	岡 崎 800は107	支 援 車	日 野 BDG-FQ1EWYG	H23. 2	12	第一実業
	大型水陸両用車	岡 崎 900さ33	大型水陸両用車	STKinetics 不 明	H25. 3	10	い す ゞ 首都圏
	大型水陸両用車 専用搬送車	岡 崎 800は122	大型水陸両用車 専用搬送車	い す ゞ QKG-CYH77A	H25. 3	10	〃
	資機材搬送車	岡 崎 800さ1662	資 材 運 搬 車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2	10	第一実業
	中消防二輪車	1 岡 崎 あ 1588	消 防 二 輪 車	ヤ マ ハ JBK-DG17J	H20.12	14	ヤ マ ハ 発 動 機
	北 分 署	北高所活動車	岡 崎 800さ1165	高 所 活 動 車	日 野 BDG-XZU334M	H22. 2	13
北 1 号 車		岡 崎 800は115	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H24. 3	11	日 本 ドライ
北 2 号 車		岡 崎 800さ1793	消防ポンプ自動車	日 野 TKG-XZU640M	H25.10	9	小 川 ポンプ
北救急1号車		岡 崎 800さ2953	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R2. 12	2	愛 知 トヨタ

種別 所属	名称	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	装 社名等	
				型式				
中 北 分 署	北広報車	岡崎 800さ825	広報車	三菱 ABF-KB9T	H20.9	14	愛知中央 三菱	
	花園出張所	花園1号車	岡崎 800は139	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GX7JGAA改	H27.3	8	日本 ドライ
		花園救急1号車	岡崎 800さ2622	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H30.11	4	愛知 トヨタ
署	花園広報車	岡崎 800さ159	広報車	三菱 TA-H77W	H17.9	17	愛知中央 三菱	
東 本 署	東屈折はしご車	岡崎 800は218	屈折はしご付消防 ポンプ自動車 (25m)	日野 2PG-FH1AGA改	R1.11	3	モリタ	
	東1号車	岡崎 800は201	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ 2PG-FSS90S2	H30.3	5	日本 ドライ	
	東2号車	岡崎 800さ190	消防ポンプ自動車	三菱 KK-FK61HE	H13.10	21	〃	
	東水槽車	岡崎 800は134	小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	日野 LDG-GK8JLAA	H26.12	8	〃	
			小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H26.12	8		
	東救助工作車	岡崎 800は117	救助工作車	日野 SDG-GX7JGAA改	H24.3	11	平和機械	
	東救急1号車	岡崎 800さ2104	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H27.11	7	愛知 トヨタ	
	東救急4号車	岡崎 800さ2270	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.10	6	愛知 トヨタ	
	東指揮指令車	岡崎 800さ104	指揮指令車	トヨタ CBF-TRH200V	H16.12	18	名古屋 トヨペット	
	東広報1号車	岡崎 800さ2081	広報車	トヨタ LDF-KDY231	H27.9	7	愛知 トヨタ	
	東広報2号車	岡崎 800さ2820	広報車	トヨタ DBA-NSP170G	R2.3	3	〃	
	東消防二輪車	1岡崎 あ1589	消防二輪車	ヤマハ JBK-DG17J	H20.12	14	ヤマハ 発動機	
	防 南 分 署	南はしご車	岡崎 800は18	はしご付消防ポン プ自動車 (40m)	日野 KL-PR4FPHF	H13.12	21	モリタ
南1号車		岡崎 800は116	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GX7JGAA改	H24.3	11	日本 ドライ	
南2号車		岡崎 800さ1634	消防ポンプ自動車	日野 SKG-XZU640M	H24.12	10	〃	
南救急1号車		岡崎 800さ3189	高規格 救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S	R4.3	0	愛知 トヨタ	
南救急2号車		岡崎 800さ2954	〃	トヨタ 3BF-TRH226S	R2.12	2	〃	
南広報車		岡崎 800さ1921	広報車	ホンダ DAA-GP3	H26.8	7	ホンダカース 三河	
青 野 出 張 所	青野1号車	岡崎 800は106	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GX7JGWA改	H22.12	12	日本 ドライ	
	青野救急1号車	岡崎 800さ3124	高規格 救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3.10	1	愛知 トヨタ	
	青野広報車	岡崎 800さ2227	広報車	トヨタ LDF-KDY231	H28.8	6	〃	
額 田 出 張 所	額田1号車	岡崎 800は162	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ SKG-FSS90S2	H28.3	7	平和機械	

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過	艀 装 社名等	
				型 式				
東 額田出張所	額田水槽車	岡 崎 800は126	小型動力ポンプ 付水槽車 (5t)	日 野	H26. 3	9	日 本 ドライ	
				QKG-FE7JGAA				
	額田救急1号車	岡 崎 800さ2103	高規格 救急自動車	トヨタ	H27. 11	7		愛 知 トヨタ
				CBF-TRH226S				
	額田広報車	岡 崎 800さ2080	広 報 車	トヨタ	H27. 9	7		"
				LDF-KDY231				
防 本宿出張所	本宿1号車	岡 崎 800は28	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野	H17.11	17	日 本 ドライ	
	本宿救急1号車	岡 崎 800さ3123	高規格 救急自動車	トヨタ	R3.10	1	愛 知 トヨタ	
				3BF-TRH226S				
本宿広報車	岡 崎 800さ824	広 報 車	三 菱	H20. 9	14	愛知中央 三菱		
署 形埜出張所	形埜1号車	岡 崎 800は81	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野	H21. 3	14	日 本 ドライ	
	形埜救急1号車	岡 崎 800さ2781	高規格 救急自動車	トヨタ	R1.12	3	愛 知 トヨタ	
				CBF-TRH226S				
形埜広報車	岡 崎 800さ2617	広 報 車	トヨタ	H30.11	4	ネットヨタ 愛 知		
西 本 防 署	西はしご車	岡 崎 800は196	はしご付消防 自動車 (40m)	日 野	H29. 10	5	モリタ	
				2DG-PR1APJF				
	西化学車	岡 崎 800は177	化学消防 ポンプ自動車	いすゞ	H29.1	6	日 本 ドライ	
				SKG-FSS90S2				
	西2号車	岡 崎 800さ178	消防ポンプ自動車	三 菱	H15.12	19	"	
	西4号車	岡 崎 800は23	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野	H17.11	17	"	
				PB-FT8JGFL改				
	西水槽車	岡 崎 800は99	小型動力ポンプ 付水槽車 (7t)	日 野	H22. 3	13	"	
				BDG-FR1AKXA				
	西救助工作車	岡 崎 800は12	救助工作車	トヨタ	H22. 3	13	"	
				VF63AS				
	西救急1号車	岡 崎 800は12	救助工作車	日 野	H14.12	20	平和機械	
KK-FT1JHDA改								
西救急2号車	岡 崎 800さ2780	高規格 救急自動車	トヨタ	R1.12	3	愛 知 トヨタ		
			CBF-TRH226S					
西広報1号車	岡 崎 800さ2440	"	トヨタ	H29. 10	5	"		
			CBF-TRH226S					
西広報2号車	岡 崎 800さ502	広 報 車	三 菱	H19.10	15	愛知中央 三菱		
			ABF-KB9T					
西消防二輪車	1岡 崎 あ 1590	消防二輪車	トヨタ	H17. 2	18	愛 知 トヨタ		
			CBA-ZZT241W					
署	西消防二輪車	1岡 崎 あ 1590	消防二輪車	ヤマハ	H20.12	14	ヤマハ 発動機	
				JBK-DG17J				

3 消防団機械配備

消防団に消防ポンプ車(A-2級)4台、小型動力ポンプ付積載車(B-2級)32台、小型動力ポンプ積載車63台、軽積載車13台、小型動力ポンプ(B-2級)2台、小型動力ポンプ(B-3級)82台を分散配備している。

令和5年4月1日

所属	種別	登録番号	機械区分	車名	購入年月	経過年数	無線種別	所在地
				型式				
広幡消防団 第1部		岡崎 800さ454	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H18.2	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	伊賀町
				TC-TRY230				
				トーハツ VC72AM				
第2部		岡崎 800さ295	積載車	トヨタ	H15.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	六供町
			GE-RZY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H29.1	6		
			VC42AS					
第3部		岡崎 800さ417	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H16.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井田町
				TC-TRY230				
				シバウラ SF755EH				
第4部		岡崎 800さ10	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	真伝町
			TC-TRY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H21.11	13		
			VC42A					
第5部		岡崎 800さ360	積載車	トヨタ	H18.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	伊賀町
			TC-TRY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H20.11	14		
			VC42A					
第6部		岡崎 800さ583	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H20.1	15	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	松本町
				ABF-TRY230				
				シバウラ SF756EZ				
第7部		岡崎 800さ24	積載車	トヨタ	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	日名本町
				GE-YY101				
				シバウラ SF651MZ				
連尺消防団 第1部		岡崎 800さ316	消防ポンプ自動車	三菱	H13.10	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	康生通西 3丁目
				KK-FE53EB改				
第2部		岡崎 800さ298	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	八帖町
				TC-TRY230				
				シバウラ SF755EH				
第3部		岡崎 800さ12	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	板屋町
			TC-TRY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H19.9	15		
			VC42A					
第4部		岡崎 800さ25	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	八帖北町
			TC-TRY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H25.1	10		
			VC42AS					
梅園消防団 第1部		岡崎 800さ301	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	稲熊町
				TC-TRY230				
				シバウラ SF755EH				
第2部		岡崎 800さ471	積載車	トヨタ	H17.3	18	受令機 簡易デジタル無線機	六地藏町 1丁目
			TC-TRY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H30.12	4		
			VC42AS					
第3部		岡崎 800さ297	積載車	トヨタ	H15.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	稲熊町
			GE-RZY220					
			小型動力ポンプ	トーハツ	H30.12	4		
			VC42AS					

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
根石消防団 第1部	岡崎 800さ181	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H19.1	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中町
			TC-TRY230				
			トーハツ VC72AM				
第2部	岡崎 800さ359	積載車	トヨタ	H18.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	欠町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H21.11	13		
第3部	岡崎 800さ19	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	小呂町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A			H19.9	
三島消防団 第1部	岡崎 800さ416	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H16.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明大寺 本町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH				
第2部	岡崎 800さ320	積載車	トヨタ	H15.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	菅生町
		GE-RZY220					
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ			H24.1	
第3部	岡崎 800さ300	積載車	トヨタ	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS			H26.1	
第4部	岡崎 800さ2958	積載車	ニッサン	R2.12	2	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大西 1丁目
		CBF-SQ1F24					
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX			H12.10	
六名消防団 第1部	岡崎 800さ182	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H19.1	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	上六名 2丁目
			TC-TRY230				
			トーハツ VC72AM				
第2部	岡崎 800さ311	積載車	トヨタ	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	六名 1丁目
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A			H18.12	
第3部	岡崎 800さ306	積載車	トヨタ	H15.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
		GE-RZY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A			H20.11	
第4部	岡崎 800さ13	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	久後崎町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ			H23.1	
羽根消防団 第1部	岡崎 800さ584	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H20.1	15	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱町
			ABF-TRY230				
			シバウラ SF756EZ				
第2部	岡崎 800さ2959	積載車	ニッサン	R2.12	2	受令機 簡易デジタル無線機	戸崎町
		CBF-SQ1F24					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A			H20.11	
第3部	岡崎 800さ17	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	庄司田 1丁目
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400			R2.1	
第4部	岡崎 800さ367	積載車	トヨタ	H15.12	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	羽根町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS			H29.1	

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
岡崎消防団 第1部	岡崎 800さ315	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H15.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱6丁目
			GE-RZY230				
			シバウラ SF755EH				
第2部	岡崎 800さ4	積載車	トヨタ	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	羽根西 2丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ				
第3部	岡崎 800さ1333	積載車	トヨタ	H23.1	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	天白町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400				
第4部	岡崎 800さ382	積載車	トヨタ	H15.12	19	受令機 簡易デジタル無線機	若松町
		小型動力ポンプ	トーハツ				
第5部	岡崎 800さ23	積載車	トヨタ	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	針崎町
		小型動力ポンプ	GE-YY101				
美合消防団 第1部	岡崎 800さ1336	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H23.1	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	美合町
			ABF-TRY230				
			トーハツ				
第2部	岡崎 800さ383	積載車	トヨタ	H18.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	緑丘 3丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ				
第3部	岡崎 800さ22	積載車	トヨタ	H12.10	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岡町
		小型動力ポンプ	GE-YY101				
第4部	岡崎 880あ359	軽積載車	ダイハツ	R4.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	保母町
		小型動力ポンプ	3BD-S710W				
男川消防団 第1部	岡崎 800さ929	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H21.1	14	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大平町
			ABF-TRY230				
			トーハツ				
第2部	岡崎 800さ474	積載車	トヨタ	H17.3	18	受令機 簡易デジタル無線機	高隆寺町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
第3部	岡崎 800さ861	積載車	トヨタ	H20.10	14	受令機 簡易デジタル無線機	丸山町
		小型動力ポンプ	ABF-TRY220				
第4部	岡崎 800さ318	積載車	トヨタ	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	小美町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
第5部	岡崎 800さ313	積載車	トヨタ	H15.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	洞町
		小型動力ポンプ	GE-RZY220				
福岡消防団 第1部	岡崎 800さ75	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H16.11	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	福岡町
			TC-TRY230				
			トーハツ				
			VC72AM				

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
福岡消防団 第2部	岡崎 800さ293	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	若松東 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A				
第3部	岡崎 800さ412	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	福岡町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A				
第4部	岡崎 800さ15	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	福岡町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX				
第5部	岡崎 880あ330	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	1	受令機 簡易デジタル無線機	上地 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX				
竜谷消防団 第1部	岡崎 800さ59	小型動力ポンプ	トヨタ TC-TRY230	H16.11	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桑谷町
		付積載車	トーハツ VC72AM				
第2部	岡崎 800さ47	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	18	受令機 簡易デジタル無線機	桑谷町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS				
第3部	岡崎 800さ372	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	19	受令機 簡易デジタル無線機	竜泉寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX				
藤川消防団 第1部	岡崎 800さ302	小型動力ポンプ	トヨタ GE-RZY230	H15.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	藤川町
		付積載車	シバウラ SF755EH				
第2部	岡崎 880あ331	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	1	受令機 簡易デジタル無線機	蓑川町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS				
第3部	岡崎 800さ29	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	市場町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A				
山中消防団 第1部	岡崎 800さ307	小型動力ポンプ	トヨタ TC-TRY230	H17.10	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	山綱町
		付積載車	シバウラ SF755EH				
第2部	岡崎 880あ332	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	1	受令機 簡易デジタル無線機	羽栗町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS				
第3部	岡崎 800さ21	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	池金町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS				
本宿消防団 第1部	岡崎 800さ1812	小型動力ポンプ	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	9	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	本宿町
		付積載車	シバウラ SF756EZ				
第2部	岡崎 880あ334	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	1	受令機 簡易デジタル無線機	上衣文町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS				

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
本宿消防団 第3部	岡崎 880あ360	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	鵜巣町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R5.3	0		
河合消防団 第1部	岡崎 800さ413	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	生平町
			シバウラ SF755EH	H16.1	19		
第2部	岡崎 800さ314	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	蓬生町
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ	H24.1	11		
第3部	岡崎 800さ482	積載車	トヨタ TC-TRY220	H19.9	15	受令機 簡易デジタル無線機	須淵町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H11.10	23		
第4部	岡崎 800さ370	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	秦梨町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	4		
第5部	岡崎 800さ378	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	才栗町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	3		
常磐消防団 第1部	岡崎 800さ1813	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	9	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	滝町
			シバウラ SF756EZ	H25.12	9		
第2部	岡崎 800さ221	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.3	18	受令機 簡易デジタル無線機	滝町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H21.11	13		
第3部	岡崎 880あ362	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	米河内町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H18.12	16		
第4部	岡崎 800さ296	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	安戸町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	6		
第5部	岡崎 800さ2962	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	2	受令機 簡易デジタル無線機	大柳町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC52B	H17.10	17		
第6部	岡崎 800さ321	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	大井野町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	5		
第7部	岡崎 800さ862	積載車	トヨタ ABF-TRY220	H20.10	14	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	田口町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.11	7		
岩津消防団 第1部	岡崎 800さ1521	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H24.3	11	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	鴨田町
			シバウラ SF756EZ	H24.3	11		
第2部	岡崎 800さ455	〃	トヨタ TC-TRY230	H18.2	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	奥殿町
			トーハツ VC72AM	H18.2	17		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
岩津消防団 第3部	岡崎 880あ336	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大門 2丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.11	7		
第4部	岡崎 800さ2963	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	2	受令機 簡易デジタル無線機	百々町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	3		
第5部	岡崎 800さ44	消防ポンプ自動車	三菱 KK-FE53EB改	H12.11	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岩津町
第6部	岡崎 880あ361	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	宮石町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	4		
第7部	岡崎 800さ384	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	19	受令機 簡易デジタル無線機	真福寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	4		
第8部	岡崎 800さ6	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	恵田町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	2		
第9部	岡崎 800さ368	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	駒立町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	4		
第10部	岡崎 880あ363	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	仁木町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.2	8		
第11部	岡崎 800さ78	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	細川町
			トーハツ VC72AM	H16.11	18		
第12部	岡崎 800さ2965	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	2	受令機 簡易デジタル無線機	日影町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H12.10	22		
第13部	岡崎 800さ380	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	19	受令機 簡易デジタル無線機	桑原町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	6		
矢作消防団 第1部	岡崎 800さ71	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	矢作町
			トーハツ VC72AM	H16.11	18		
第2部	岡崎 800さ3346	"	トヨタ 3BF-TRY230	R5.3	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	宇頭町
			トーハツ VF63AS-Ti	R5.3	0		
第3部	岡崎 800さ183	"	トヨタ TC-TRY230	H19.1	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大和町
			トーハツ VC72AM	H19.1	16		
第4部	岡崎 800さ1639	"	ニッサン CBF-SQ2F24	H24.12	10	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	北野町
			トーハツ VF63AS	H24.12	10		
第5部	岡崎 800さ1156	"	トヨタ ABF-TRY230	H22.2	13	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	橋目町
			シバウラ SF756EZ	H22.2	13		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地			
			型式							
六ツ美消防団 第1部	岡崎 800さ1976	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン	H27.2	8	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井内町			
			CBF-SQ2F24							
			シバウラ							
第2部	岡崎 800さ61	"	トヨタ	H16.11	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	下青野町			
			TC-TRY230							
			トーハツ							
第3部	岡崎 800さ319	"	トヨタ	H17.10	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中島町			
			TC-TRY230							
			シバウラ							
第4部	岡崎 800さ184	"	トヨタ	H19.1	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	赤渋町			
			TC-TRY230							
			トーハツ							
額田消防団 第1部	岡崎 800さ3347	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R5.3	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	檜山町			
			3BF-TRY230							
			トーハツ							
	岡崎 800さ346	積載車	トヨタ	H17.11	17	受令機 簡易デジタル無線機				
		TC-TRY220								
	"	小型動力ポンプ	トーハツ	H27.11	7					
VC42AS										
"	"	トーハツ	H12.1	23						
	V4601									
"	"	トーハツ	H16.11	18		桜井寺町				
	VC6201									
第2部	岡崎 800さ2794	積載車	ニッサン	R2.1	3	受令機 簡易デジタル無線機	牧平町			
		CBF-SQ2F24								
"	"	小型動力ポンプ	シバウラ	R2.1	3					
		FK400								
第3部	岡崎 880あ335	軽積載車	ダイハツ	R4.3	1	受令機 簡易デジタル無線機	滝尻町			
		3BD-S331W								
		小型動力ポンプ	トーハツ					R4.3	1	
VC42AS										
"	"	"	トーハツ	H13.12	21		鳥川町			
		VC6201								
第4部	岡崎 800さ254	積載車	トヨタ	H13.2	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	夏山町 柿平			
		GE-YY121								
		小型動力ポンプ	トーハツ					H13.12	21	
V6201										
"	"	"	トーハツ	H15.12	19		夏山町 寺野			
		V6201								
第5部	岡崎 800さ415	積載車	トヨタ	H14.1	21	受令機 簡易デジタル無線機	大代町			
		GE-RZY220								
		小型動力ポンプ	トーハツ					H13.12	21	
		V6201								
"	"	トーハツ	H7.11	27		"				
V4601										
"	"	"	トーハツ	H12.1	23		雨山町			
		V4601								
第6部	岡崎 800さ1832	積載車	いすゞ	H26.2	9	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明見町			
		TKG-NHS85AN								
"	"	小型動力ポンプ	シバウラ	H26.2	9					
		SF756AZi								

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
額田消防団 第7部	岡崎 800さ115	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.12	18	受令機 簡易デジタル無線機	石原町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	5		
	岡崎 800さ411	積載車	トヨタ GE-RZY220	H14.1	21	受令機 簡易デジタル無線機	千万町町
		小型動力ポンプ	トーハツ V6201	H13.1	22		
		〃	ラビット P455	H14.12	20		木下町
第8部	岡崎 800さ347	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.11	17	受令機 簡易デジタル無線機	中伊町
		小型動力ポンプ	トーハツ V6201	H15.12	19		
	岡崎 880あ79	軽積載車	ダイハツ EBD-S331W	H22.12	12	受令機 簡易デジタル無線機	中伊西町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H22.12	12		
	岡崎 800さ162	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.1	20	受令機 簡易デジタル無線機	外山町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	2		
		小型動力ポンプ	トーハツ V4601	H8.11	26		
第9部	岡崎 800さ125	消防ポンプ自動車	いすゞ KK-NKR71GN	H12.12	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桜形町
		小型動力ポンプ	トーハツ V6201	H13.12	21		
第10部	岡崎 800さ143	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.12	18	受令機 簡易デジタル無線機	鍛埜町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	5		
第11部	岡崎 880あ25	軽積載車	ダイハツ LE-S330W	H20.1	15	受令機 簡易デジタル無線機	切山町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	6		
	岡崎 800さ220	積載車	トヨタ GE-YY121	H13.2	22	受令機 簡易デジタル無線機	毛呂町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	3		
		〃	ラビット P455	H14.12	20		井沢町
第12部	岡崎 800さ166	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.1	20	受令機 簡易デジタル無線機	南大須町
		小型動力ポンプ	トーハツ V6201	H13.1	22		
第13部	岡崎 800さ472	消防ポンプ自動車	いすゞ KR-NKS81GAR	H16.3	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	保久町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	6		富尾町
		〃	トーハツ V6201	H16.11	18		小久田町

消 防 水 利

消防活動上不可欠な消防水利は、市街地及び密集地域等について計画的に消火栓の設置を推進するとともに、特に防火水槽は、消防水利未整備地域に対して計画的に整備を図っている。

令和5年4月1日

水利表示 区分		消 火 栓			防 火 水 槽					そ の 他							
		双 口	単 口	合 計	20	20	40	60	100	合 計	内耐震性		さ く 泉	プ ー ル	消 防 用 貯 水 池 等	河 川 接 岸 進 入 路	
					m ³ 未 満	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上		40 m ³ 以 上	100 m ³ 以 上					
署別	管区別																
中 消 防 署	本 署	広 幡	6	326	332		2	49		1	52	26	1		4		
		連 尺	3	156	159	3	2	12			17	3		1	2		
		梅 園	4	184	188			28		1	29	13	1		1		
		根 石	4	174	178		2	20		3	25	10	2		2		
		三 島	3	225	228		1	31			32	21			3		
		六 名	3	123	126			16		1	17	9	1	1	1		
		小 計	23	1,188	1,211	3	7	156		6	172	82	5	2	13		
	北 分 署	常 磐	5	93	98			39			39	21			4		8
		岩 津	2	329	331	1	5	52	1	1	60	32	1	7	6	2	10
		小 計	7	422	429	1	5	91	1	1	99	53	1	7	10	2	18
	花園出張所	岩 津		180	180	2	1	51	2		56	36			3	9	1
	合 計		30	1,790	1,820	6	13	298	3	7	327	171	6	9	26	11	19
	東 消 防 署	本 署	美 合	1	202	203	1	6	34	6	1	48	16	1		3	
男 川				142	142	1	9	26	1		37	14			2		1
竜 谷				44	44		1	10			11	5			1		
藤 川			4	67	71			16			16	11			1		5
河 合				67	67	1		7			8	6			3		5
小 計			5	522	527	3	16	93	7	1	120	52	1		10		12
南 分 署		羽 根	2	233	235			25		1	26	18	1		3		
		岡 崎	4	189	193		1	32	2	2	37	28	2		3		
		福 岡	5	178	183		1	27			28	21			3		
		六ッ美		96	96	1		14			15	10		2	2		
		小 計	11	696	707	1	2	98	2	3	106	77	3	2	11		
青野出張所		福 岡		32	32		3	10			13	5					
		六ッ美		267	267	5	2	61			68	42		15	4		3
		小 計		299	299	5	5	71			81	47		15	4		3
額田出張所		額 田	2	50	52	3	5	58	1		67	5			4		1
本宿出張所		山 中		77	77		1	20	1		22	13			2		1
		本 宿	1	83	84		1	37	1		39	25			1		1
		小 計	1	160	161		2	57	2		61	38			3		2
形埜出張所		額 田				1	2	45	4		52	5			2		
合 計		19	1,727	1,746	13	32	422	16	4	487	224	4	17	34		18	
西消防署本署	矢 作		471	471	3	5	74		1	83	43	1	24	7		1	
総 合 計		49	3,988	4,037	22	50	794	19	12	897	438	11	50	67	11	38	

さく泉防火水槽

さく泉防火水槽は、昭和57年度から消防水利整備拡充のため設置している。

概 要

矢作川流域の沖積層を流れる地下水をくみ上げ消防水利として活用するもので、地下40mまで掘削し、硬質塩化ビニール管（直径20cm）を挿入、地下20mから30m付近の帯水層にある地下水を消防ポンプで吸水、毎分約1 m³の連続放水が可能で、国の示す基準も充分適合し、費用、設置面積等含め、有効な消防水利として岡崎市では現在50基を設置し活用している。

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽は、地震による水道断水時の消火用水等を確保するため設置した。

1 構造及び仕様

- (1) プレストレスコンクリート構造等で震度7の地震に耐えられるように設計されている。
- (2) 専用消火栓2基及び小型動力ポンプを設置。
- (3) 水道管を直結し、水が絶えず循環している。
- (4) 水くみ上げ用の手動吸水ポンプ設置。
- (5) 内容量は100m³、これは消防自動車1台で約1時間40分放水することができる。

2 設置場所

- | | | | |
|--------------|-----------------|-------------|--------------------|
| (1) 岡崎市籠田町 | 籠田公園内 | (7) 岡崎市欠 町 | 東公園内 |
| (2) // 石神町 | 伊賀公園内 | (8) // 羽根町 | 岡崎市ビックセンター内 |
| (3) // 羽根西新町 | 南部市民
センター分館内 | (9) // 朝日町 | 岡崎市役所
東庁舎内 |
| (4) // 美合町 | 美合公園内 | (10) // 矢作町 | 岡崎市西部地域
交流センター内 |
| (5) // 若松町 | 南公園内 | | |
| (6) // 百々町 | 百々公園内 | | |
- 参考
六名公園内…老朽により水道管から切離し

消 防 音 楽 隊

消防音楽隊は、消防の行事及び市の諸式典をはじめ、各種行事に参加するなど、幅広い演奏活動を通じて広く市民に親しまれ、消防PRに貢献するとともに、市民の防災意識高揚に成果をあげている。



1 隊員の編成

令和5年4月1日

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
隊 長	1							1
副 隊 長		1						1
隊 員				2	10	10	1	23
合 計	1	1		2	10	10	1	25

2 編 成

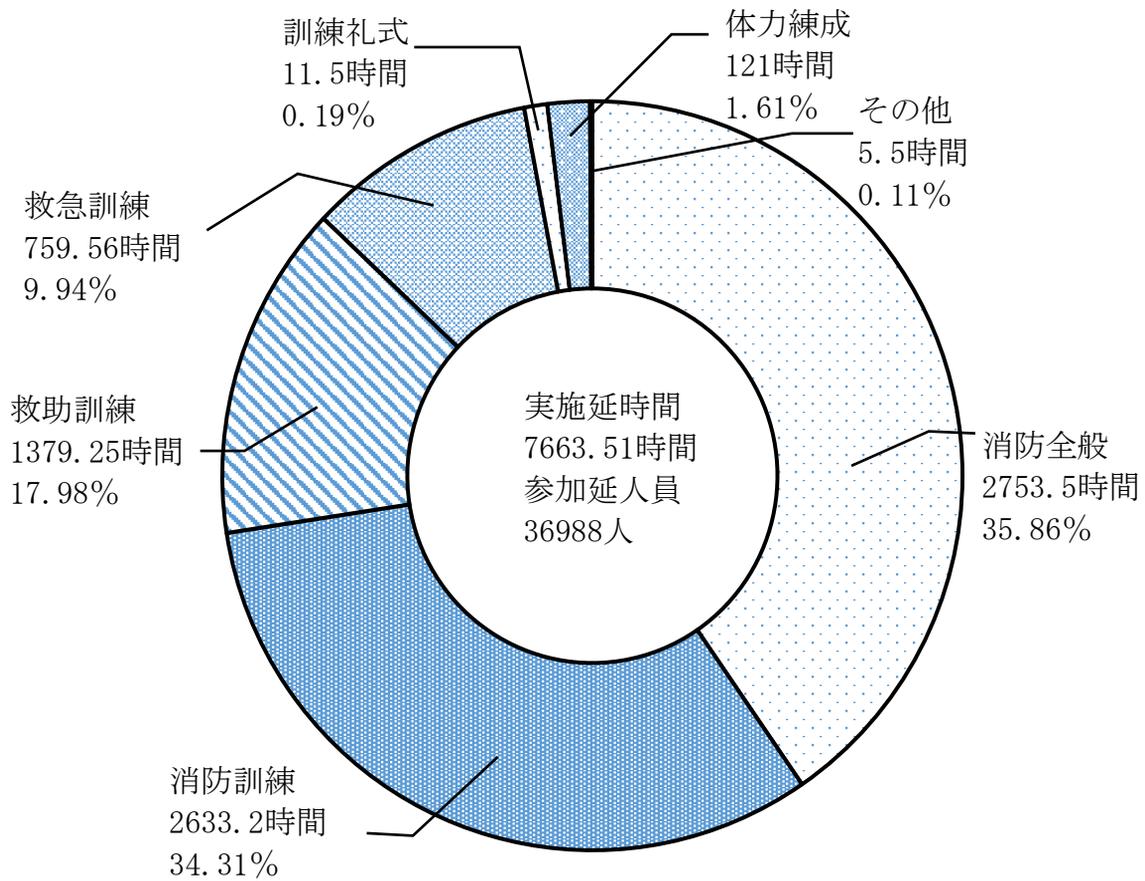


3 音楽隊参加行事

年 月 日	行 事
令和4年11月5日	家康行列パレード
令和4年11月20日	岡崎市消防団連合観閲式
令和5年1月8日	岡崎市消防出初式
令和5年3月25日	岡崎竜城ライオンズクラブチャーターナイト50周年式典

消防職員教養実施状況

1 一般教養



2 委託教養

委託機関	種別	人員
消防大学校	幹部科	2人
	危険物科	1人
	危機管理・国民保護コース	1人
救急救命東京研修所	救急救命士	3人
名古屋市救急救命研修所	救急救命士	1人
救急救命九州研修所	指導救命士	2人
愛知県消防学校	初任科	9人
	救急科	10人
	救助科	2人
	水難救助科	1人
	指揮隊科	1人
	警防科	3人
	危険物科	1人
	上級幹部科	1人
	はしご自動車等運用科	2人
	外傷講習	1人

令和4年度消防訓練状況

(消防職団員)			
科	目	実施場所	参加延人員
訓練	儀式	消防署各署所訓練場	372人
消防	二輪車実技研修	キョウセイ交通大学	6人
潜水	基本訓練	中消防署本署	56人
岡崎市	消防本部土砂・風水害対応救助訓練	箱柳町 岡崎市総合現業事務所敷地内	48人
消防	職員安全運転実技研修	キョウセイ交通大学	20人
岡崎市	消防団初任者・幹部研修	岡崎中央総合公園	260人
岡崎市	消防団消防操法大会	岡崎中央総合公園	263人
岡崎市	新規採用職員研修	消防本部	157人
警防	本部・署隊本部運用訓練	岡崎幸田消防指令センター等	約200人
消防	団機関班養成講習	消防本部	86人
愛知県	消防操法大会	常滑市	39人
市役所	庁用車駐車場救助訓練	岡町 市役所庁用車駐車場	11人
乙川	水難救助訓練	康生町 乙川河川緑地	67人
潜水	救助隊員再任研修	中消防署本署	3人
消防	団安全運転実技研修	キョウセイ交通大学	108人
流水	救助訓練(中止)	船越町 矢作川日名橋河川緑地	一人
消防	団員消防技術発表会	康生町 乙川河川緑地	214人
名古屋	市消防航空隊合同訓練	一畑山薬師寺牛乗山・岡崎中央総合公園	25人
緊急	消防援助隊近畿ブロック合同訓練	滋賀県	11人
第15	回消防団員震災・風水害研修	中消防署本署	109人
第6	回緊急消防援助隊全国合同訓練	静岡県	13人
名古屋	市航空機隊合同訓練及び夜間離着陸訓練(中止)	岡崎中央総合公園多目的広場	一人
岡崎市	消防団連合欄開式	康生町 乙川河川緑地	546人
イオン	モール岡崎高所救助訓練	戸崎町 イオンモール岡崎	16人
西三河	地区合同訓練	西尾市消防本部	7人
岡崎市	消防出初式	康生町 乙川河川緑地	774人
愛知県	警防技術交換会	名古屋消防学校	4人
豊田	市消防本部足助消防署救助訓練	豊田市消防本部足助消防署	15人
新任	潜水基本訓練	西消防署本署・岡崎城西高校・桑谷町 龍谷池	17人
文化	財火災防御訓練	伊賀町 伊賀八幡宮	81人
消防	職員育成合同訓練(中止)	各署所	一人
救急	技術発表会	各署所	304人

科	目	実施場所	参加延人員
第50	回消防救助技術東海地区指導会	名古屋市 イオンモール熱田店	31人
第50	回全国消防救助技術大会	東京都 立川市	13人
潜水	応用救助訓練	桑原町 巴川カヌー練習場	18人
特別	消防隊名古屋消防学校訓練	名古屋消防学校	21人
岡崎	警察管区機動隊との合同救助訓練	中消防署本署	8人
中央	クリーナーセンターを利用した消防訓練	板田町 中央クリーナーセンター	16人
大型	水陸両用車豊川駐屯地演習場走行訓練	豊川市 陸上自衛隊豊川駐屯地日吉演習場	13人
電気	事故災害対応訓練	中部電力パワースタッフ株式会社八軒訓練場	46人
部隊	運用訓練(中止)	岡町 愛知産業大学三河高等学校	一人
大規模	災害防衛訓練	明大寺町 自然科学研究機構糠山手地区	145人

協定・協約等

1 消防相互応援協定

協定名	締結年月日	締結先
愛知県内広域消防相互応援協定	平成15年 4月1日	愛知県内各市町、組合及び広域連合
愛知県下高速道路における消防相互応援協定	平成30年 7月31日	名古屋市、豊橋市、一宮市、岡崎市、豊川市、春日井市、津島市、衣浦東部広域連合、豊田市、瀬戸市、稲沢市、小牧市、新城市、東海市、大府市、尾張旭市、岩倉市、西春日井広域事務組合、蟹江町、海部東部消防組合、尾三消防組合、海部南部消防組合及び愛西市
西三河地区消防相互応援協定	昭和43年 4月27日	碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、額田郡幸田町、西加茂郡三好町、尾三消防組合、衣浦東部広域連合
消防相互応援協定	昭和46年 5月1日	蒲郡市
新東名高速道路本宮山トンネルにおける消防救急無線設備の使用に関する協定	平成27年 12月7日	新城市消防本部、中日本高速道路株式会社
愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定	令和4年 4月1日	愛知県・愛知県内市町村、消防事務に関する一部事務組合及び広域連合

2 協定

協定先	協定年月日	協定目的
西三河クレーン組合	昭和49年 9月25日	火災等の災害によりクレーン車等の必要を認められた場合、協定業者の協力を求め、その被害の軽減を図ること。
龍北スポーツサポート株式会社	令和3年 3月3日	大規模災害発生時に、協定業者に龍北総合運動場の提供の協力を求め、被災者に対する支援体制の充実を図ること。

3 業務協約

協約先	協約年月日	協約目的
東邦ガス株式会社	平成30年 1月26日	都市ガスの漏えいに起因する火災及び爆発等の事故（以下「災害」という。）を未然に防止するとともに、災害が発生した際これを早期に鎮圧し、被害を最小限度に防止するため。

出 動 状 況

令和4年中の火災は、88件で、火災防衛のため消防職、団員は延べ2,634人、消防自動車等626台が出動している。

消防署、消防団火災出動状況（人員及び機械）

月別	火災 件数	署団別		消防署	広幅 連尺	梅園	根石	三島	六名	羽根	岡崎	美合	男川	福岡	竜谷	藤川	山中	本宿	河合	常磐	岩津	矢作	六ツ美	額田	小計	合計	
		区分	人員																								
1月	9	人	209	12			6				5	29	13								11	12	11		99	308	
		消防機械	58	2			1				1	4	2								2	3	2		17	75	
2月	6	人	111				18											13						19	50	161	
		消防機械	32				4											2						4	10	42	
3月	9	人	229	47								23					32				15		18		135	364	
		消防機械	63	8								3					3				3		3		20	83	
4月	6	人	122	25							10	11	5												51	173	
		消防機械	32	2							2	2	1												7	39	
5月	1	人	4																							4	
		消防機械	1																								1
6月	6	人	86				2							6									16		24	110	
		消防機械	25				1							1									2		4	29	
7月	7	人	164							8											23	29		15	75	239	
		消防機械	47							1											4	4		4	13	60	
8月	9	人	145				5															25	17	35	82	227	
		消防機械	43				1															4	2	4	11	54	
9月	6	人	89				6																14		20	109	
		消防機械	26				2																1		3	29	
10月	3	人	44								4														8	52	
		消防機械	14								1											1			2	16	
11月	18	人	368	19	16				12	22				46									31		243	611	
		消防機械	105	2	2				2	4				6								10		3	31	136	
12月	8	人	171	15			5						35										50		105	276	
		消防機械	49	2			2						4										5		13	62	
合計	88	人	1,742	118	16	6	7	29	12	30	19	63	53	52			32	22			23	172	79	125	892	2,634	
		消防機械	495	16	2	2	7	7	2	5	4	9	7	7			3	4			4	24	10	15	131	626	

予 防 業 務



火災の実態

令和4年中における岡崎市の火災発生状況は、出火件数88件、建物焼損床面積1,680㎡、林野焼損面積1a、損害額1億7,257万8千円、死者1人、負傷者13人であった。

1 令和4年中の火災状況と前年との比較

種別	年別		令和4年	令和3年	増減数
	単位				
出火件数	合計	件	88	95	△7
	建物		58	47	11
	林野		1	6	△5
	車両		12	11	1
	その他		17	31	△14
焼損棟数	合計	棟	75	63	12
	全焼		7	9	△2
	半焼		6	1	5
	部分焼		25	23	2
	ぼや		37	30	7
焼損面積	建物床面積	㎡	1,680	1,387	293
	建物表面積		135	103	32
	林野	a	1	32	△31
死傷者	合計	人	14	28	△14
	死者		1	3	△2
	負傷者		13	25	△12
り災世帯数	世帯	38	48	△10	
り災人員	人	88	110	△22	
損害額	合計	千円	172,578	121,517	51,061
	建物		140,620	89,361	51,259
	林野			244	△244
	車両		24,909	19,741	5,168
	その他		7,049	12,171	△5,122

※ △印は、減を示す。

2 出火率（人口1万人あたりの出火件数）

	出火件数(件)	人口(人) (令和4年12月1日現在)	出火率(件) (人口1万人当りの出火件数)
岡崎市	88	384,647	2.3

4 曜日・時間別出火状況

区分	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損害額 (千円)						
	計	建物	林野	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	床面積 (㎡)					表面積	林野 (a)	計	建物	林野	車両	その他
計	88	58	1	12	17	75	7	6	25	37	1,680	135	1	1	13	38	88	172,578	140,620	24,909	7,019	
日	16	9		4	3	14	4	1	3	6	436	25		4	4	9	17	29,124	16,712	6,856	5,556	
月	9	6		3		6			1	5		45		3	3	2	6	11,695	10,065	1,400	230	
火	9	6		1	2	6			4	2	36	3		1	4	4	4	7,080	7,063	17		
水	16	10		2	4	10			3	7	46			1	5	16	4	9,719	9,361	323	35	
木	16	11		2	3	14			3	9	558	3		1	3	10	10	60,457	43,970	15,540	947	
金	9	7	1		1	16	3	1	6	6	362	58	1	2	9	26	26	47,428	46,397	773	258	
土	13	9			4	9			2	2	242	1		2	6	9	9	7,075	7,052		23	
不明																						
0時～2時	4	3		1		3			1	2	3					1	5	13,284	1,448	6,406	5,430	
2時～4時	4	1			3	1		1			160							1,671	1,669		2	
4時～6時	3	3				3			1	2		45		1	1	1	1	4,666	4,666			
6時～8時	3	1		2		3	2		1		56	3		3	2	2	2	20,338	3,228	16,190	920	
8時～10時	6	6				9	2	1	2	4	415	2		2	7	16	16	15,123	14,804	240	79	
10時～12時	9	5		2	2	5		1	2	2	117			1	4	11	11	12,741	12,535	93	113	
12時～14時	12	5		3	4	5			2	3	2	4		1	1	2	2	824	240	498	86	
14時～16時	10	8			2	17	2	1	7	7	222	74		1	9	26	26	44,011	42,979	773	259	
16時～18時	13	9		2	2	9		1	1	7	108			1	3	7	7	5,715	5,616	49	50	
18時～20時	14	10		1	3	13		2	4	7	594	1		1	6	13	13	49,346	48,851	420	75	
20時～22時	5	4			1	4			2	2	3	1			3	4	4	1,704	1,704			
22時～24時	2	1		1		1				1								3,125	2,850	240	35	
不明	3	2	1			2			2			5	1	1	1	1	1	30	30			

5 建物火災火元用途別焼損状況

区分 建物用途別	件数 (件)	焼損棟数 (棟)					焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
専用住宅	20	35	7	4	13	11	939	1	8	76,775
併用住宅										
共同住宅	12	12			7	5	71			7,654
複合用途(特定)	2	2			1	1				63
飲食店	1	1			1		4			806
工場・作業所	11	13		1	1	11	503		2	47,523
旅館										
倉庫	3	3			1	2			1	4,620
病院										
その他の用途	9	9		1	1	7	163			3,179
建物火災以外が火元										
合計	58	75	7	6	25	37	1,680	1	11	140,620

※ ()内は種別が建物火災以外で、建物に類焼した数値も含む。

6 原因別出火状況

原因別	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損 害 額 (千円)						
	計	建 物	林 野	車 両	その他	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	建 物					表 面 積 (㎡)	林 野 積 (a)	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
たばこ	6	4			2	4	1	2	1	1	68			7,670					1			
こんろ	7	7				7		3	4	7	1			2,512								
かまど																						
風呂かまど																						
炉																						
焼却炉																						
ストーブ	1	1				1	1			2	2			45								
こたつ																						
ポイラー																						
煙突・煙道																						
排気管	7	3		4		3			3							78		1,029	230			
電気機器	4	3			1	3		2	1	74				10,069								
電気装置	3	2		1		2		2	2					3,987		3,567		420				
電灯・電話等の配線	5	5				9	2	1	2	4	559	3		44,961								
内燃機関																						
配線器具	2	2				2		2		3	4			1,451								
火あそび	2			1	1									3				3				
マッチ・ライター																						
たき火	4		1		3							1		51					51			
溶接機・切断機																						
灯火	2	2				2	1	1		117				2,225		2,225						
衝突の火花																						
取灰	1	1				1		1		2				95		95						
火入れ																						
放火	6	3			3	3			3					2,878		2,851			27			
放火の疑い	3	2			1	2	1		1	160				1,670		1,670						
その他	29	17		6	6	17	2	5	10	52	25			38,829		10,038		22,444	6,347			
不明	6	6				19	4	1	6	636	100			54,795		53,389		1,013	393			
合 計	88	58	1	12	17	75	7	6	25	37	1,680	135	1	172,578	140,620			24,909	7,049			

7 最近10年間の推移

種別 年別	出火件数 (件)					焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)				
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)			計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
平成 25年	150	76	10	10	54	2,557	34	5	14	149,745	140,116		8,327	1,302
平成 26年	118	59	5	10	44	1,720	60	2	27	124,821	115,537		6,918	2,366
平成 27年	91	58		13	20	2,877	4	1	12	204,434	193,657		6,110	4,667
平成 28年	94	58	1	12	23	3,929	11	4	14	353,006	345,272		6,173	1,561
平成 29年	102	52	3	12	35	1,902	25	3	20	250,583	207,276		35,970	7,337
平成 30年	98	46	6	14	32	1,530	37	1	14	197,794	186,003	23	4,563	7,205
令和 元年	115	71	3	14	27	2,959	6	4	19	396,068	379,257		10,248	6,563
令和 2年	89	51	2	9	27	2,125	15	6	15	188,295	179,054		6,135	3,106
令和 3年	95	47	6	11	31	1,387	32	3	25	121,517	89,361	244	19,741	12,171
令和 4年	88	58	1	12	17	1,680	1	1	13	172,578	140,620		24,909	7,049

8 管轄区域別出火状況

管轄区域別		区 分	出 火 件 数 (件)					焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)	
			計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)				
中 消 防 署	本 署	広 幡	10	7		1	2	33			1	420	
		連 尺	2	2								1	
		梅 園	1	1				1				225	
		根 石	3	1			2					2	
		三 島	5	4		1		92		1		6,371	
		六 名	1	1								5	
		小 計	22	16		2	4	126		1	1	7,024	
	北 分 署	常 磐	3	1	1		1		1		1		
		岩 津	8	4		2	2	536			2	47,540	
		小 計	11	5	1	2	3	536	1		3	47,540	
	花園出張所	岩 津	2	2				378			1	13,693	
	合 計			35	23	1	4	7	1,040	1	1	5	68,257
	東 消 防 署	本 署	美 合	4	3			1	23				1,843
			男 川	4	2			2					26
竜 谷													
藤 川			1	1							1	1	
河 合													
小 計			9	6			3	23			1	1,870	
南 分 署		羽 根	4	3		1						2,931	
		岡 崎	3	2		1		37			1	4,647	
		福 岡	4	2			2	207			1	38,114	
		六ツ美	2	2				88				1,967	
		小 計	13	9		2	2	332			2	47,659	
青野出張所		福 岡											
		六ツ美	6	5		1		51			1	14,934	
		小 計	6	5		1		51			1	14,934	
額田出張所		額 田	2	1			1					70	
本宿出張所		山 中	2	2				160			1	5,169	
		本 宿	3	1		1	1					253	
		小 計	5	3		1	1	160			1	5,422	
形埜出張所		額 田	1	1				3				1,422	
合 計			36	25		4	7	569			5	71,377	
西消防署本署	矢 作	10	10				71			3	3,979		
高 速 道 路			7			4	3					28,965	
総 合 計			88	58	1	12	17	1,680	1	1	13	172,578	

9 最近5年間の主要火災

損害額 5,000千円以上

区分 年月日	出火場所	用途	焼損床面積 (㎡)
30. 4. 1	洞町	共同住宅	51
4. 8	栄町3丁目	学校	194
5. 11	矢作町	共同住宅	40
6. 9	丸山町	工場	404
6. 16	仁木町	住宅	71
8. 18	福岡町	工場	
11. 28	細川町	住宅	111
12. 25	宮地町	住宅	152
31. 1. 10	天白町	共同住宅	125
2. 8	大平町	作業場	232
1. 5. 5	上和田町	住宅	109
5. 17	六名2丁目	寺院	426
6. 18	高隆寺町	ごみ処理施設	432
6. 28	西阿知和町	工場	89
7. 25	井田南町	飲食店	
8. 21	伊賀新町	共同住宅	39
8. 24	羽根町	工場	364
9. 22	在家町	住宅	155
11. 6	小美町	工場	330
11. 11	真伝町	住宅	45
12. 7	北野町	車庫	43
12. 11	東牧内町	住宅	143
2. 1. 16	橋目町	住宅	271
1. 21	赤渋町	住宅	159
2. 17	江口2丁目	住宅	87

区分 年月日	出火場所	用途	焼損床面積 (㎡)
2. 5. 14	大門3丁目	住宅	364
7. 28	舞木町	住宅	80
8. 15	鴨田町	複合用途(非特定)	201
8. 23	宇頭町	住宅	191
10. 29	竜泉寺町	住宅	84
12. 15	大樹寺1丁目	工場	194
12. 21	竜美北2丁目	住宅	116
3. 3. 11	戸崎町	住宅	212
4. 15	鳥川町	車両	
5. 15	合歓木町	住宅	217
5. 29	小美町	住宅	129
6. 16	伊賀町	併用住宅	204
7. 26	中島町	住宅	80
10. 20	鹿勝川町	車両	
11. 6	本宿西1丁目	車両	
11. 20	上地4丁目	住宅	140
12. 6	明大寺町	旅館	64
4. 3. 4	中島中町	住宅	47
9. 11	茅原沢町	車両	
9. 22	宮石町	車両	
11. 4	上地3丁目	住宅	207
11. 15	西蔵前町	共同住宅	33
11. 17	大樹寺1丁目	工場	503
11. 27	細川町	住宅	378

10 高速道路火災

(1) 東名高速道路

ア 区間別火災状況

区 分	K P 件 数	豊田市	岡崎市	岡崎市	岡崎市	豊川市	計
		豊田ジャンクション～ 302.6 出火件数	302.6～ 293.4 出火件数	岡崎インター 293.4 出火件数	293.4～ 283.9 出火件数	283.9～ 音羽蒲郡インター 出火件数	
上り線							
下り線							
その他			2				2
計			2				2

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種 別	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		建物												
車両														
その他			1										1	2
計			1										1	2
焼損面積 (㎡)			20										6	26
損害額 (千円)														

ウ 原因別等状況

区 分	出 火 件 数	原 因							出火車両区分							その他の火災発生箇所区分			死傷者				
		たばこ	排気管	内燃機関	衝突の火花	高温の固体	交通機関内配線	その他	不明	大型バス	マイクロバス	普通乗用車	軽乗用車	大型トラック	中型トラック	小型トラック	その他	中央分離帯	法面	その他ランプウェイ等	死者	負傷者	
建物																							
車両																							
その他	2						2											2					
計	2						2											2					

(2) 新東名高速道路

ア 区間別火災状況

区分	K P 件数	豊田市	岡崎市	岡崎市	岡崎市	豊川市	計
		豊田東ジャンクション～ 251.4	251.4～ 236.5	岡崎東インター 236.5	236.5～ 230.1	230.1～ 新城インター	
		出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数
上り線			1		1		2
下り線							
その他			3				3
計			4		1		5

※ 「その他」とは、東海環状自動車道、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物													
車両						1			2		1		
その他				1									
計				1		1			2		1		
焼損面積 (㎡)				300									
損害額 (千円)						1,010			27,936		19		

ウ 原因別等状況

区分	出火件数	原因								出火車両区分							その他の火災発生箇所区分			死傷者			
		たばこ	排気管	内燃機関	衝突の火花	高温の固体	交通機関内配線	その他	不明	大型バス	マイクロバス	普通乗用車	軽乗用車	大型トラック	中型トラック	小型トラック	その他	中央分離帯	法面	その他ランプウエー等	死者	負傷者	
建物																							
車両	4		2			2					1		2			1							
その他	1						1													1			
計	5		2			2	1				1		2			1				1			

予 防

1 防火管理

(1) 防火対象物の状況

150㎡以上（17項を除く）

令和4年12月31日

区分	1項		2項		3項		4項		5項		6項		7項		8項		9項		10項		11項		12項		13項		14項		15項		16項		17項	
	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		
管轄区域別	5	67	2	9	1	2	2	119	154	18	1,420	73	19	72	21	127	7			4	84	272	58	222	446	477	274	9	3,963					
		30		7		3		39	86	1	478	23	14	25	12	45	2				37	282	10	138	183	93	85	8	1,601					
		9						3	8		37	3	2	3	1	12	2				8	30	3	29	20	12	5	187						
	5	106	2	16	1	5	1	161	248	19	1,935	99	35	100	34	184	11			4	129	584	71	389	649	582	364	17	5,751					
本署	3	41		3				24	62	8	469	27	24	32	13	82	2	1		52	258	21	205	237	75	65		1,704						
南分署	1	43		6		2		70	142	4	1,146	51	16	32	4	57	1	2	1	29	150	29	95	243	214	117		2,455						
青野出張所		26	1					14	29		229	13	7	28	1	19				26	220	3	118	79	38	19		870						
額田出張所		11						9	5	1	5	2	4	5		19	1			25	69	6	42	37	10	3		254						
本宿出張所		10		1				3	9	2	78	7	3	14	6	14	1		1	20	75	6	32	37	12	19		350						
形埜出張所		4							2			2		2		5				9	51	5	24	45	3	5	2	159						
合計	4	135	1	10		2	120	249	15	1,927	102	54	113	24	196	5	3		2	161	823	70	516	678	352	228	2	5,792						
西消防署本署		30		4				25	46		811	19	21	23	5	50		1	2	37	383	19	157	234	82	66	1	2,016						
総合計	9	271	3	30	1	7	1	306	543	34	4,673	220	110	236	63	430	16	3	1	8	327	1,790	160	1,062	1,561	658	20	13,559						

(3) 防火管理者を必要とする防火対象物の状況

令和4年12月31日

区分	1項		2項		3項		4項		5項		6項				7項		8項		9項		10項		11項		12項		13項		14項		15項		16項		17項	
	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		
管轄区域別	映画	3	83	2	8	1	2	1	119	122	14	158	25	19	31	10	37	5					19	10							101	219	25	1	1,015	
	映画公会場																																			
	画覧会	52			5		3	38	71	1	30	4	14	11	4	13						13	15							1	21	43	6	4	349	
	画覧会会場	20						3	5	2	2	1	2	2	1	3	1					4	2							1	1	5	1	54		
合計	3	155	2	13	1	5	1	160	198	15	190	30	35	44	15	52	6					36	27					3	123	267	32	5	1,418			
中消防署	本署	2	44		3				26	45	7	19	13	16	15	5	19	2				19	16							6	18	39	7		321	
	南分署		52		5		2		72	110	4	92	21	13	19	3	20	1				8	11							41	120	16	1	615		
	青野出張所		28	1					12	19		12	6	7	13	1	4					8	13							3	6	21		154		
	額田出張所		23						5	1	1	1		4	4	3	1					3	7							1	8	1	1	64		
東消防署	本署		13		1				3	5	1	7	2	3	10	2	5					6	14							3	10	1		86		
	形埜出張所		6												2	2						2	5							1	1	2		22		
	合計	2	166	1	9		2		118	180	13	131	42	43	63	11	53	4				46	66					1	70	200	25	3	1,262			
	西消防署本署		38		3				29	38		58	2	18	14	4	11					9	15							1	10	48	7	1	306	
総合計	5	359	3	25	1	7	1	307	416	28	379	74	96	121	30	116	10				1	108					1	14	203	515	64	9	2,986			

(4) 防火管理講習等の状況

学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、複合用途その他多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者は、防火管理者を定め、消防計画の作成、消防用設備等の点検及び整備、火気の取扱いに関する監督、消火、通報及び避難の訓練その他防火管理上必要な業務を行わせなければならない。

令和4年度防火管理講習等実施状況

区 分	実 施 日	講習会場
防火管理講習 (乙種のみ)	令和4年5月11日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防災新規講習	令和4年5月29日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防火管理講習 (甲種のみ)	令和4年6月16日 17日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防火管理講習 (甲種のみ)	令和4年7月22日 23日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防火管理講習 (乙種のみ)	令和4年9月17日	岡崎市竜美丘会館 小ホール
防火管理講習 (甲種のみ)	令和4年9月29日 30日	岡崎市竜美丘会館 ホール
甲種防火管理再講習	令和4年11月29日	岡崎市福社会館 6階大ホール
防火管理講習 (甲種のみ)	令和4年12月22日 23日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防火管理講習 (甲種のみ)	令和5年2月18日 19日	岡崎市竜美丘会館 ホール

- ※ 昭和36年度～防火管理講習を開催
- ※ 昭和62年度～甲種・乙種の2区分で開催
- ※ 平成17年度～甲種防火管理再講習を開催
- ※ 平成21年度～防災管理新規講習を開催
- ※ 平成26年度～防災管理再講習を開催
- ※ 平成30年度～一般財団法人日本防火・防災協会に依頼

(5) 消防用設備等の点検報告の状況

令和4年12月31日

区分 項別		点検を要する防火対象物			報告済防火対象物		
		総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上	総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上
1 項	イ	9	3	6	8	3	5
	ロ	297	269	28	214	189	25
2 項	イ	4	4		1	1	
	ロ	31	19	12	19	8	11
	ハ	1	1				
	ニ	7	5	2	6	4	2
3 項	イ	1	1				
	ロ	477	474	3	241	238	3
4 項		632	514	118	442	340	102
5 項	イ	45	19	26	42	17	25
	ロ	4,578	3,811	767	3,720	3,093	627
6 項	イ	246	215	31	156	128	28
	ロ	108	61	47	92	53	39
	ハ	293	259	34	239	208	31
	ニ	64	35	29	57	32	25
7 項		409	171	238	374	144	230
8 項		17	11	6	14	9	5
9 項	イ	3	1	2	3	1	2
	ロ	1	1		1	1	
10 項		8	7	1	7	6	1
11 項		258	234	24	147	124	23
12 項	イ	1,735	1,314	421	1,131	792	339
13 項	イ	156	98	58	117	64	53
14 項		1,070	922	148	678	565	113
15 項		1,483	1,233	250	982	776	206
16 項	イ	975	835	140	527	416	111
	ロ	639	564	75	332	269	63
17 項		20	19	1	20	19	1
合計		13,567	11,100	2,467	9,570	7,500	2,070

(6) 階別防火対象物状況（3階建以上）

令和4年12月31日

階別 項別	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	16 階 以上	計
1 項	12	3	2	1											18
2 項	4	5													9
3 項	35	5	1	1											42
4 項	34	10	6	1											51
5 項	890	468	239	72	55	61	35	34	35	15	13	23	24	5	1,969
6 項	83	17	5	7	1	2	1	1							117
7 項	117	64	10	7	1	3									202
8 項	1		1												2
9 項															
10 項	3														3
11 項	14	2	2												18
12 項	133	23	13	2	1	2									174
13 項	14	11		2											27
14 項	46	8	2												56
15 項	256	73	35	17	9	11	4	3							408
16 項	546	155	58	29	19	16	4	2		1				1	831
17 項															
計	2,188	844	374	139	86	95	44	40	35	16	13	23	24	6	3,927

(7) 高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物

令和4年12月31日

1	岡崎タワーレジデンス	(99.4m・31F)	75	ミッドシティコート竜美丘	(38.3m・13F)
2	シビックタワー岡崎	(59.5m・20F)	76	Tステージ鴨田	(38.3m・13F)
3	Tステージ岡崎ウィングタワー	(59.4m・20F)	77	サンシティ岡崎駅前	(37.9m・12F)
4	岡崎ウィズスクエア	(59.4m・20F)	78	第2マルワビル	(37.9m・9F)
5	リコットタワー岡崎康生	(59.2m・20F)	79	アーバンライフ栄	(37.6m・13F)
6	リコット岡崎公園タワーパーキング	(52.86m・2F)	80	藤田学園岡崎医療センター	(37.5m・8F)
7	岡崎信用金庫本店	(49.4m・10F)	81	アストル竜美ヶ丘	(37.3m・12F)
8	ミッドシティレジデンス岡崎康生 タワーパーキング	(46.1m・1F)	82	ライオンズマンション東岡崎	(37.2m・12F)
9	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート駐車場	(45.8m・2F)	83	BELISTA岡崎戸崎	(37.2m・11F)
10	ジャパンレンタカー岡崎店	(45.3m・3F)	84	ロイヤルマンション緑丘	(37.0m・13F)
11	サンクレア梅園	(44.6m・15F)	85	シャルマンコーポ大樹寺	(36.9m・13F)
12	ロイヤルシティ岡崎公園	(44.5m・15F)	86	株式会社マルヤス 事務本館	(36.6m・8F)
13	SAキャッスル岡崎パークタワー	(44.3m・16F)	87	シティライフ岡崎パークウェイ	(36.6m・12F)
14	ファミリー東岡崎スカイフォーラム	(44.3m・15F)	88	シティライフ岡崎マークス	(36.4m・12F)
15	カーサビアンカ東岡崎	(44.3m・15F)	89	リコット東岡崎	(36.4m・13F)
16	藤和康生町ホームズ	(44.2m・15F)	90	スーパーホテル岡崎	(36.3m・12F)
17	グリーンゲートレジデンス イーストウイング	(44.2m・15F)	91	ミッドシティセントラル東岡崎	(36.1m・11F)
18	グリーンゲートレジデンス ガーデンウイング	(44.2m・15F)	92	ミッドシティプレミアム北岡崎	(35.9m・12F)
19	岡崎オーワホテル	(44.2m・14F)	93	キングスコート南天白	(35.8m・13F)
20	サンクレア岡崎大門	(44.1m・15F)	94	ミッドシティレジデンス岡崎康生 マンション棟	(35.7m・12F)
21	リコット岡崎城	(44.0m・15F)	95	五万石家具総本店 茶臼山ハイツ	(35.6m・12F)
22	岡崎市中央クリーンセンター 工場棟	(44.0m・8F)	96	日本エステル(株)岡崎工場	(35.4m・7F)
23	ポレスター竜美丘プレミアムレジデンス	(43.9m・15F)	97	サンアメニティ朝日	(35.0m・12F)
24	リコット岡崎公園	(43.9m・15F)	98	モアグレース末広町	(34.7m・11F)
25	ミッドシティガーデン東岡崎 マンション棟	(43.7m・15F)	99	リバブル北野	(34.4m・12F)
26	グリーンゲートレジデンス ブライトウイング	(43.6m・15F)	100	キャッスルハイツ美合駅前	(34.2m・12F)
27	グリーンゲートレジデンス ウェストウイング	(43.6m・15F)	101	サンライズ康生	(33.9m・11F)
28	グリーンゲートレジデンス セントラルウイング	(43.6m・15F)	102	プラウド東岡崎	(33.9m・11F)
29	三菱自動車 開発本館	(43.5m・9F)	103	岡崎市役所東庁舎・福祉会館	(33.8m・7F)
30	愛知県西三河総合庁舎	(43.5m・10F)	104	中部電力岡崎ビル	(33.7m・8F)
31	レブルタワー岡崎北	(43.4m・15F)	105	サンアメニティ岡崎駅II	(33.6m・12F)
32	ライオンズガーデン岡崎公園	(43.2m・14F)	106	ビューフォート岡崎	(33.6m・12F)
33	インペリアルシティ岡崎公園	(43.0m・13F)	107	シャトー岡崎III番館	(33.3m・12F)
34	メープルタワー竜美丘	(42.9m・15F)	108	岡崎女子短期大学 2号館	(32.9m・8F)
35	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート	(42.9m・14F)	109	岡崎地方合同庁舎	(32.9m・7F)
36	シティライフ岡崎駅北	(42.8m・14F)	110	サンアメニティ美合ステーション	(32.8m・11F)
37	藤和シティホームズ岡崎公園	(42.6m・15F)	111	リコット岡崎駅東	(32.8m・11F)
38	リコットタワー岡崎康生 パーキング	(42.4m・2F)	112	サンシティウエストパーク天白	(32.7m・11F)
39	ライオンズガーデン東岡崎式番館	(42.2m・14F)	113	サンアメニティ石神寺番館	(32.6m・11F)
40	レゾンシティ南岡崎	(42.2m・14F)	114	ハートヒルズ日名	(32.5m・11F)
41	ノステルコート岡崎共同住宅棟	(42.1m・14F)	115	ダイアパレス岡崎南公園	(32.3m・11F)
42	ARIA33	(42.1m・14F)	116	第一生命・三井住友海上岡崎ビル駐車場	(32.3m・1F)
43	アルバックス岡崎駅東	(42.1m・13F)	117	ホテルリブマックス	(32.2m・10F)
44	エスポアクレメント光ヶ丘	(42.0m・15F)	118	株式会社マキタ岡崎工場J棟	(32.2m・5F)
45	自然科学研究機構 山手1～5号館	(42.0m・10F)	119	モデルノ矢作	(32.1m・11F)
46	岡崎市民病院	(42.0m・9F)	120	セリジェ伊賀	(32.0m・11F)
47	エスポア岡崎	(41.9m・15F)	121	岡崎センタービル	(31.8m・9F)
48	グローリアス岡崎I	(41.8m・15F)	122	ユニブル東岡崎	(31.5m・11F)
49	ネオシティ岡崎南	(41.8m・15F)	123	スペクトルティアラ宇頭	(31.5m・11F)
50	グローリアス岡崎戸崎町	(41.6m・15F)	124	(株)和光地所本社ビル	(31.5m・8F)
51	レゾンシティ岡崎駅前	(41.3m・14F)	125	ノスタルコート タワーパーキング	(31.5m・3F)
52	レゾンシティ竜美ヶ丘	(41.3m・14F)	126	岡崎市役所西庁舎	(31.4m・8F)
53	Heart Hills城北	(41.1m・14F)	127	フタバ産業(株)岡崎工場	(31.2m・7F)
54	藤和シティホームズ東岡崎	(41.1m・14F)	128	グレースメゾン光ヶ丘	(31.1m・11F)
55	ネオシティ岡崎	(41.0m・15F)	129	エスポワール舞木	(31.0m・11F)
56	モアグレース城北	(41.0m・14F)	130	コメルスファイブマンション	(31.0m・11F)
57	シャンボール康生	(40.7m・14F)	131	グラード岡崎	(30.9m・11F)
58	シャイニングヒルズ	(40.7m・13F)	132	フレストスクエア岡崎井田南町	(30.9m・11F)
59	ARIA22	(40.5m・14F)	133	サンシティ矢作パーク	(30.9m・11F)
60	サンシティ岡崎駅西	(40.4m・13F)	134	サンシティ矢作橋ガーデン	(30.9m・11F)
61	藤和シティコープ伝馬通	(40.4m・14F)	135	シャルマンコーポ戸崎	(30.7m・11F)
62	ミッドシティセントラル東岡崎 立体駐車場	(40.1m・1F)	136	シャトレ中岡崎	(30.7m・11F)
63	シャトレ康生ツインズ北館	(40.0m・14F)	137	サンシティ美合ガーデン	(30.7m・11F)
64	メープルタワー竜美ヶ丘アネックス	(40.0m・14F)	138	サーラシティ大樹寺	(30.4m・11F)
65	レインボー城北	(39.9m・13F)	139	キングスコート久後崎	(30.4m・11F)
66	岡崎信用金庫 第2本部	(39.8m・8F)	140	グランドステージ岡崎	(30.4m・11F)
67	サンシティガーデンヒルズ光ヶ丘	(39.5m・14F)	141	グローリアス岡崎大和町	(30.4m・11F)
68	藤和シティコープ東岡崎	(39.4m・14F)	142	キングスコート岡崎公園	(30.4m・11F)
69	ユニブル矢作	(39.3m・14F)	143	シャンボール岡崎	(30.3m・11F)
70	藤和シティコープ岡崎	(39.3m・14F)	144	ユーハウス第2岡崎	(30.1m・11F)
71	ライオンズマンション西岡崎	(39.1m・14F)	145	シャトー岡崎II番館	(30.0m・11F)
72	第一生命・三井住友海上岡崎ビル	(38.8m・10F)	146	シャンボール西岡崎	(29.7m・11F)
73	セントラルガーデン・レジデンス岡崎(住居棟)	(38.8m・13F)	147	ユートピア小豆坂壺番館・式番館	(29.6m・11F)
74	フェリカーサ明大寺	(38.4m・11F)			

(8) 火災予防条例諸届出状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区 分	月 別												計
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
喫煙、裸火使用 又は危険物品持込み 承認申請書	2	1	4	11	1	1	2	1	2	1	3	2	31
防火対象物届 使用開始	20	24	33	21	16	9	6	11	20	13	21	16	210
消防訓練実施届	145	164	178	221	226	218	160	217	266	310	318	158	2,581
炉等設置届	4	2		1	1		2	2	3	1	2	4	22
発電設備等設置届	5	11	12	2	2	4	7	14	6	13	3	9	88
ネオン管灯設備 設置届													
火災と紛らわしい煙又 は火炎を発生するおそれ のある行為届	23	10	10	12	10	14	17	15	17	29	53	71	281
煙火打上げ (仕掛け)届		1	2	4	1	2	5	4	29	14	3	5	70
溶接(溶断) 作業届	6	8	9	7	6	5	2	3	4	11	7	3	71
催物開催届				1		1			1				3
道路工事届	48	71	73	68	50	55	66	65	89	78	94	70	827
露店等の開設届出書	7	7	26	25	17	10	26	18	16	26	24	9	211
危険物貯蔵 (取扱い)開始届	5	2	1	5	4	4	3	4	1	6	4	2	41
危険物貯蔵 (取扱い)変更届	2	5	4	2	2	2	4		3	2	2	1	29
危険物貯蔵 (取扱い)廃止届		2	2		1		3	4	1				13
タンク検査申請書													
消防用設備等 工事計画届	53	62	77	55	55	59	54	50	63	52	56	65	701
計	320	370	431	435	392	384	357	408	521	556	590	415	5,179

(9) 消防訓練等実施状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	消防訓練	出前講座				合計
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	
事業所等	2,256	3	2		5	2,261
	86,215	176	57		233	86,448
学 校	104	13			13	117
	51,390	1,056			1,056	52,446
幼稚園 保育園	162					162
	26,335					26,335
防災防犯 協会		17	2		19	19
		960	150		1,110	1,110
その他 (子供会等)		14	3		17	17
		876	54		930	930
合 計	2,522	47	7		54	2,576
	回数/人員	163,940	3,068	261	3,329	167,269

※ 消防訓練とは、消防法施行令第3条の2第3項の規定に基づき、学校、幼稚園・保育園、事業所等において実施する消火、通報及び避難の訓練をいう。

※ 出前講座とは、一般市民、自主防災組織等を対象に、災害予防、防災啓発等を目的として実施する講習会をいう。

(10) 起震車稼働状況

区分	稼働回数	搭乗人員	区分	稼働回数	搭乗人員
1月	2	146	7月	8	380
2月			8月	1	30
3月			9月	8	732
4月	1	100	10月	7	677
5月	2	550	11月	12	1,056
6月	5	259	12月	6	290
			合計	52	4,220

※ 岡崎市生涯学習市職員出前講座申込書以外の届出も含む。

(1) 月別消防訓練等実施状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区 分	消防訓練 回数/人員	出前講座				合計 回数/人員
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
		回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	
1月	109 11,487	2 146			2 146	111 11,633
2月	186 7,009					186 7,009
3月	194 5,700					194 5,700
4月	154 22,269	1 100	1 7		2 107	156 22,376
5月	204 13,414	1 50	1 12		2 62	206 13,476
6月	207 9,513	4 238	1 50		5 288	212 9,801
7月	155 8,340	8 380			8 380	163 8,720
8月	156 8,927	1 30			1 30	157 8,957
9月	304 19,587	7 646			7 646	311 20,233
10月	318 23,370	7 677			7 677	325 24,047
11月	354 28,044	11 556	2 80		13 636	367 28,680
12月	181 6,280	5 245	2 112		7 357	188 6,637
合 計	2,522	47	7		54	2,576
回数/人員	163,940	3,068	261		3,329	167,269

2 消防同意

(1) 管轄区域別建築物同意状況(敷地別)

令和4年12月31日

区分	居住用		事業場														その他	計	前年比較
	住	寄宿舎・共同住宅	観覧場・集会場	キャバレー遊技場	料理店・飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	病院・保護施設	学校	美術館・博物館	公衆浴場	神社・寺院	工場・作業場	車庫・駐車場	倉庫	事務所			
中消防署	本署	193	1		4	4		9	2				3	1	3	18	12	269	17
	北分署	15				1		2			1	1	1	1	1	3	3	35	△7
	花園出張所	3											1			1		7	3
	合計	211	1		4	4		11	2		1	5	2	4	22	15	311	13	
東消防署	本署	19	1		1		9	4				2		2	6			54	10
	南分署	65	1		2	2	4	2			1	2	3	13	6	121	△33		
	青野出張所	29				2				4	1		4					44	7
	額田出張所											6			1			7	5
	本宿出張所	7			1					1	4		2					17	7
	形埜出張所											1					1	2	1
	合計	120	2		4	4	15	6			5	15	2	11	22	7	245	△3	
西消防署本署	34	5	1		1		3					1	1	8		4	74	0	
総合計	365	65	4		9	11	29	8		7	34	4	16	52	26	630	10		

※ △印は、減を示す。

(2) 建築物構造別同意状況（棟別）

令和4年12月31日

管轄区域別		区 分		耐 火	準耐火	そ の 他	計
中 消 防 署	本 署			13	40	232	285
	北 分 署			2	5	29	36
	花園出張所					8	8
	合 計			15	45	269	329
東 消 防 署	本 署			11	14	34	59
	南 分 署			18	22	91	131
	青野出張所			1	5	40	46
	額田出張所			1	3	6	10
	本宿出張所				3	15	18
	形埜出張所				1	1	2
	合 計			31	48	187	266
西 消 防 署 本 署				5	26	84	115
総 合 計				51	119	540	710

(3) 建築物工事別同意状況（棟別）

令和4年12月31日

管轄区域別		区 分		用 途		計
		新 築	増 築	改 築	変 更	
中 消 防 署	本 署	269	11	2	3	285
	北 分 署	29	7			36
	花 園 出 張 所	6	1	1		8
	合 計	304	19	3	3	329
東 消 防 署	本 署	54	5			59
	南 分 署	124	6		1	131
	青 野 出 張 所	41	5			46
	額 田 出 張 所	8	2			10
	本 宿 出 張 所	16	2			18
	形 埜 出 張 所	1	1			2
	合 計	244	21		1	266
西消防署本署		96	18	1		115
総 合 計		644	58	4	4	710

3 危険物規制

(1) 管轄区域別危険物施設状況

令和4年12月31日

管轄区域別		施設	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	計
中消防署	本署		2	15	26	1	21		7	2	20 (5)	7		20	121
	北分署			18	4	2	6			3	15 (9)			16	64
	花園出張所			1	1		3		7		3 (1)			2	17
	合計		2	34	31	3	30		14	5	38 (15)	7		38	202
東消防署	本署			22	9	4	25		12	3	22 (13)	1		25	123
	南分署		2	6	6		9		4		18 (4)			9	54
	青野出張所		1	11	1		5		7	1	17 (10)			6	49
	額田出張所			5	3	2	3		1		8 (6)			3	25
	本宿出張所			13	9	3	6		1	1	8 (7)			11	52
	形埜出張所			6	2		1		2		3 (3)			3	17
	合計		3	63	30	9	49		27	5	76 (43)	1		57	320
西消防署本署				31	6	3	36		4	3	28 (21)		1	37	149
総合計			5	128	67	15	115		45	13	142 (79)	8	1	132	671

※ () 内は、自家用を示す。

(2) 危険物施設の推移

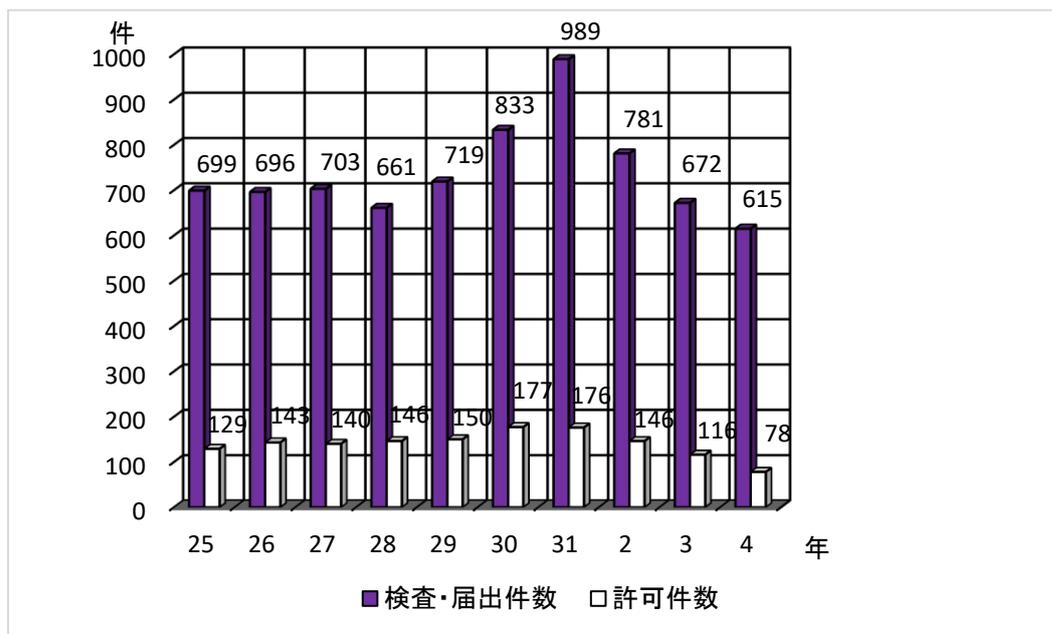
施設	年別	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
		25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
総 数		763	735	728	707	695	697	698	694	676	671
製 造 所		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
屋内貯蔵所		123	122	122	119	120	122	126	127	126	128
屋外タンク貯蔵所		85	80	79	70	72	72	70	69	68	67
屋内タンク貯蔵所		19	17	17	17	17	16	16	16	15	15
地下タンク貯蔵所		149	142	143	138	133	130	128	126	118	115
簡易タンク貯蔵所											
移動タンク貯蔵所		39	37	38	40	39	44	43	47	46	45
屋外貯蔵所		15	15	15	15	15	15	14	14	13	13
給油取扱所		158 (81)	155 (81)	153 (82)	152 (83)	151 (83)	149 (82)	146 (80)	146 (80)	144 (80)	142 (79)
第一種販売取扱所		13	12	11	11	10	9	9	8	8	8
第二種販売取扱所		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
一般取扱所		155	148	143	138	131	134	140	135	132	132

※ () 内は、自家用を示す。

(3) 月別危険物施設許可・検査状況

施 設		月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月	月		月	月
設 置 ・ 変 更 許 可	製 造 所	設置																
		変更							1									1
	屋 内 貯 蔵 所	設置			1						2							3
		変更						1										1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	設置																
		変更																
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	設置																
		変更																
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	設置																
		変更		1														1
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	設置																
		変更																
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	設置																
		変更										1	5					6
	屋 外 貯 蔵 所	設置																
		変更																
	給 油 取 扱 所	設置																
		変更		1	3	1	2	3	1	1	1	1				2		16
	第 一 種 販 売 取 扱 所	設置																
変更																		
第 二 種 販 売 取 扱 所	設置																	
	変更																	
一 般 取 扱 所	設置																	
	変更	1	3	4	11	2	1	4	1	6	5	4	8				50	
小 計			1	5	8	12	5	5	7	3	12	6	4	10		78		
検 査	完 成	製 造 所							1								1	
		貯 蔵 所	3		3		1	1		1	1	8		1		19		
		取 扱 所	8	5	10	4	7	6	4	2	8	3	7	7		71		
	完成検査前	水張・水圧		1		1	2		1	1			2	1		9		
小 計			11	6	13	5	10	8	5	4	9	11	9	9		100		
合 計			12	11	21	17	15	13	12	7	21	17	13	19		178		

(4) 危険物施設許可件数等の推移状況



(5) 危険物施設等届出状況

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
仮使用承認申請書		5	12	7	5	6	4	4	6	9	5	12	75
予防規程制定変更許可申請書					1	12				1		1	15
譲渡引渡届出書								1					1
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届出書	1	3	3	1		1		3	1		2		15
廃止届出書		1	1	1		1	3	2		1	1	5	16
資料提出書	6	17	14	16	7	22	6	5	15	4	8	19	139
変更届出書	2	2	1	18	2	1	4	1	9	3	4		47
事故発生届出書			1					1				1	3
休止・再開届出書													
完成検査済証再交付申請書							1						1
仮貯蔵・仮取扱承認申請書					1	2		1		1			5
保安監督者選任・解任届出書	10	9	3	27	13	11	7	4	2	7	3	3	99
液化石油ガス設備工事届出書			2		1						1	1	5
圧縮アセチレンガス等の貯蔵 又は取扱の開始（廃止）届出	15	9	6	5	4	4	17	6	5	7	6	10	94
計	34	46	43	75	34	60	42	28	38	33	30	52	515

外 郭 団 体

1 岡崎市危険物保安連絡協議会

昭和32年に「危険物災害の絶無と防災思想の普及徹底」を目的として、危険物施設を有する事業所及び目的に賛同する事業所をもって発足した岡崎市危険物安全協会は、平成10年4月に目的を同じくする岡崎市防火協力会と合併、名称を岡崎市危険物防火安全協会と改めるとともに岡崎市に隣接する旧額田町の消防事務を受託したことに伴い、旧額田町から危険物施設を有する会員が加入した。平成15年4月には、防災への万全を期するために、趣旨を同じくする岡崎市自衛消防隊連絡協議会と合併し、名称を「岡崎市危険物保安連絡協議会」と改める。

平成29年には創立60周年を記念して、災害の絶無と地域社会の安全確保への貢献を目的とし、消防広報車を寄贈するなどの記念事業を実施し、地域社会の安全にも寄与している。

現在、225会員（内12団体会員含む）を数え、目的達成のため活動している。



機械器具取扱講習会



初期消火技術発表会



研修会



消防広報車
(60周年記念事業)

岡崎市危険物保安連絡協議会構成表

令和5年4月1日

区 分	事業所数	団 体 名
ガソリンスタンド	28	愛知県自動車整備振興会岡崎支部
その他の工場	40	岡崎建設協会
その他の事業所	22	(一社)岡崎市医師会
運輸・通信	22	(一社)岡崎歯科医師会
化学	3	岡崎資源回収協同組合
各種団体	12	岡崎市消防設備士会
学校等	6	岡崎燃料商業協同組合
官公署	1	岡崎ホテル旅館業組合
機械製造	21	岡崎麺類工業組合
金融・保険	2	岡崎木材組合
鉱業	8	岡崎遊技業協同組合
晒・染色	2	中部反毛工業協同組合
自動車整備	6	
食品	11	
電気・ガス	6	
電気機器	4	
塗料販売	9	
燃料販売	18	
病院・診療所	1	
紡績・化繊	3	
計 225 会員		計 12 団体

岡崎市危険物保安連絡協議会

自衛消防力業態別消防機械現有表

令和5年4月1日

業 態 別	運 輸 ・ 通 信	化 学 学 校 等	機 械 製 造	自 動 車 整 備	食 品	電 気 ・ ガ ス	電 気 機 器	塗 料 販 売	紡 績 ・ 化 繊	そ の 他 の 工 場	そ の 他 事 業 所	総 計
会 員	2		19	1	6	1	4	1	3	20	1	58
消防ポンプ自動車			2						1	2		5
化学消防車			1						1			2
小型動力ポンプ			7		4		1		1	17		30

2 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会

家庭内防火、家庭内救急を目的とした自主防災づくりに昭和56年から着手し、現在、市内全域にわたって31クラブ545人のクラブ員で編成されている。

クラブ員は、家庭からの出火防止や、いざという時のために消火器の取扱い訓練を行っているほか、予期せぬけがや急病に備えて、心肺蘇生法や止血法などの技術を身につける普通救命講習を積極的に受講している。

また、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていることから、従来の家庭内防火・救急に加え、防災面の強化を重点目標に掲げ、炊き出し訓練をはじめとして、地域の防災リーダーとして活躍している。



新クラブ員消防教室



クラブ活動研修会



防 災 訓 練



消 防 出 初 式

岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会

令和5年4月1日

名 称 (婦人自主防災クラブ)	地 区
広 幡 地 区	岡崎市 広幡学区
井 田 地 区	〃 井田学区
愛 宕 地 区	〃 愛宕学区
連 尺 地 区	〃 連尺学区
梅 園 地 区	〃 梅園学区
根 石 地 区	〃 根石学区
竜 美 丘 地 区	〃 竜美丘学区
三 島 地 区	〃 三島学区
六 名 地 区	〃 六名学区
羽 根 地 区	〃 羽根学区
小 豆 坂 地 区	〃 小豆坂学区
岡 崎 地 区	〃 岡崎学区、城南学区
緑 丘 地 区	〃 緑丘学区
美 合 地 区	〃 美合学区
男 川 地 区	〃 男川学区
上 地 地 区	〃 上地1丁目～6丁目
福 岡 地 区	〃 福岡学区
竜 谷 地 区	〃 竜谷学区
藤 川 地 区	〃 藤川学区
山 中 地 区	〃 山中学区
岩 津 地 区	〃 岩津学区
大 樹 寺 地 区	〃 大樹寺学区
細 川 地 区	〃 細川学区
大 門 地 区	〃 大門学区
矢 作 東 地 区	〃 矢作東学区
矢 作 南 地 区	〃 矢作南学区
北 野 地 区	〃 北野学区
六 ツ 美 北 部	〃 六ツ美北部学区
六 ツ 美 西 部	〃 六ツ美西部学区
六 ツ 美 南 部	〃 六ツ美南部学区
額 田 地 区	〃 豊富学区、夏山学区、宮崎学区、形埜学区、下山学区
クラブ数 31クラブ	

3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会

少年消防クラブ（BFC）は、昭和26年、各町単位として自主的に結成し、火の用心、夜回り、防火ポスター、習字等の展示など火災予防活動を行っていたが、昭和43年3月、各クラブの連絡協調を図るため、各小中学校単位に連合クラブを組織し、町単位の連絡協調を図るため、町単位の活動に併せた学区単位による防火活動が展開され、大きな成果を収めている。

現在69連合クラブ、単位クラブが学校教育の一環として、火に対する知識を養い、火災予防への関心を高めるとともに、地域住民に対し防災意識の高揚と防火思想の普及に努めている。



少年消防クラブ

令和5年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
中 学 校	21	11,567人
小 学 校	48	7,575人

表 彰

全国少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰（平成26年度まで）

表彰旗	楯	記念品	指導者
16	17	7	14

優良少年消防クラブ・指導者表彰
（総務省消防庁 平成27年度から）

表彰旗	楯	指導者
	4	

愛知県少年消防クラブ運営指導協議会表彰

表彰旗	竿頭授(表彰楯)		指導者
	連合クラブ	単位クラブ	
38	47	5	66

岡崎市少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰

指導委員会	市制記念日	出初式	指導者
78	21	27	123

財団法人 日本防火協会会長表彰

優良クラブ	優良指導者
3	2

4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの方々が犠牲となったが、岩手県釜石市では、市内約3,000人の児童生徒のほとんどが津波から逃れ無事であったことから「釜石の奇跡」と呼ばれている。これを契機に、「鉄は熱いうちに打て」とのことわざもあるように、防災に関する教育も幼年期から始め、火に対するしつけや地震に対する対応力などを身につけることが必要である。

そうしたことから、本市においても幼年期から、正しい火の取扱いや消防の仕事を学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図るとともに将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的に、平成26年4月1日、岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会並びに各保育園・幼稚園において幼年消防クラブが結成され、平成26年5月16日には78幼年消防クラブを結集した岡崎市幼年消防クラブ（CFC）が発足した。

現在、防火作品作成、消防庁舎見学及びその他の活動を通じて火災予防への関心を高めるとともに、実災害に対応できるクラブ員を育成している。



幼年消防クラブ

令和5年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
公立保育園	33	3,070人
私立保育園	19	2,070人
公立こども園	3	396人
私立幼稚園	20	3,861人
私立こども園	2	299人
合計	77	9,696人

通 信



消 防 通 信

通信業務は、市民からの119番通報の受付や各署所への出動指令、災害情報の収集と伝達、気象情報の収集等を行う消防機関の中核である。

近年では情報通信メディアの発達に伴い、一般固定電話からの通報だけでなく、携帯電話やIP電話等からの通報も増加の一途をたどっている。また、都市構造と同じく複雑多様化した災害に対応すべく、共同通信課では最新のコンピュータ技術を駆使したシステムにより、市民生活の安全確保に努めている。

その他にテレホンガイドによる災害情報及び火災予防の広報を実施し、市民の防災意識の高揚を図り、また、救急要請の通報時の内容によっては、傷病者等に対する応急手当の口頭指導を行い、救命率の向上に努めている。

災害通報の**受付**から**出動**までの流れ



1 通信施設状況

令和5年4月1日

基地局・固定局概要						
名称	種別	呼出名称	送受信波種類	設置又は常置場所	空中線電力	適用
市役所東庁舎基地局	基地局	おかざきしょうぼう第1装置	活動波1（消防波1）	朝日町3丁目1番地	10W	
		おかざきしょうぼう第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第9装置	統制波1	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第10装置	統制波2	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第11装置	統制波3	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第12装置	統制波予備	〃	5W	
	固定局	ぼうさいおかざき	桑谷中継局向け	〃	13mW	防災課所管
桑谷中継局	基地局	おかざきしょうぼうくわがい第1装置	活動波1（消防波1）	桑谷町字雨山2番地538	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第2装置	活動波2（消防波2）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第4装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第5装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第6装置	活動波3（消防波3）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第7装置	活動波4（救急波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第8装置	活動波予備	〃	5W	
	固定局	ぼうさいくわがい	市役所向け	〃	13mW	防災課所管
		ぼうさいくわがい	桜形中継局向け	〃	13mW	防災課所管
		おかざきしょうぼうくわがい第1装置（装置は基地局と兼用）	岡崎東IC局向け活動波3（消防波3）	〃	5W	新東名本宮山トンネル用
おかざきしょうぼうくわがい第2装置（装置は基地局と兼用）		岡崎東IC局向け活動波予備	〃	5W	新東名本宮山トンネル用	

基地局・固定局概要						
桜形中継局	基地局	おかざきしょうぼうさくらがた第1装置	活動波1（消防波1）	桜形町字柿本 28番地	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第9装置	統制波1/2/3	〃	1 W	周波数 切り替え方式
		おかざきしょうぼうさくらがた第10装置	統制波予備	〃	1 W	
固定局	ぼうさいさくらがた	桑谷中継局向け	〃	13mW	防災課所管	
村積山中継局	基地局	おかざきしょうぼうむらづみやま第1装置	活動波3（消防波3）	奥山田町字山田 53番地16	5 W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	5 W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第3装置	活動波予備	〃	5 W	
雨山中継局	基地局	おかざきしょうぼうあめやま第1装置	活動波3（消防波3）	雨山町字越タワ道東 1番地5	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第3装置	活動波予備	〃	10W	
岡崎東IC局	固定局	おかざきしょうぼうとんねるちゅうけい第1装置	桑谷中継局向け 活動波3（消防波3）	檜山町字半木沢 6番地2	5 W	新東名本宮山 トンネル用
本宮山基地局	基地局	しょうぼうほんぐうさんとんねる第1装置	主運用波3（県運用波）	豊川市千両町鞍狭間 33番地133	10W 1 W 0.01W	新東名本宮山 トンネル用
		しょうぼうほんぐうさんとんねる第2装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W 1 W 0.01W	新東名本宮山 トンネル用

区分	所属別	消防本部				中消防署			東消防署					西消防署本署	消防団	岡崎市民病院	合計	
		総務課	予防課	消防課	共同通信課	本署	北分署	花園出張所	本署	南分署	青野出張所	額田出張所	本宿出張所	形埜出張所				
無線電話	高度情報通信ネットワーク				1	1											2	
	岡崎市デジタル地域防災無線(副統制台)				1												1	
	岡崎市デジタル地域防災無線(半固定局)				1												1	
	可搬型衛星地球局(VSAT)					1											1	
	卓上					2	1	1	1	1	1	1	1	1			11	
	車載	1	5	5		16	5	3	10	6	3	4	3	3	9	47	1	121
	携帯				2	7	3	2	6	4	2	2	2	2	5			37
	可搬			1	1	1			1									4
	署活無線				10	20	7	5	15	10	7	7	5	4	11			101
	受令機				3											66		69
簡易デジタル無線			1	3	1			1							113		119	
有線電話	電話(火災報知専用回線)	1	1	9	番回線													16
	衛星回線					2											2	
	高速道路専用回線				1												1	
	東邦ガス専用回線				1												1	
	一般加入回線				11		3	2	3	3	3	3	2	2	3		35	
	庁内(VSAT用内線)				1												1	
	署所間内線数						2	2	3	2	2	2	2	2	3		20	
	指令回線					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		10	
災害状況等自動案内回線				32													32	
車両運用端末装置					11	4	2	8	5	2	3	2	2	8		1	48	
携帯電話	1	1	1		5	2	2	3	4	2	2	2	2	3			30	
衛星携帯電話	1				1			1						1			4	
FAX(災害・事務用)		1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			13	
メール119用タブレット型端末				1													1	
タブレット型端末				1	1			1									3	
Net119兼災害現場映像通報システム用端末				2													2	

※ 火災報知専用電話(回線)の内訳は消防防災・震災対策現況調査の入力要領に準ずる。

※ 有線電話については、アナログ回線1契約につき1回線、デジタル回線1契約につき2回線で計上する。

※ 指令回線は内線も併用する。

2 緊急通報覚知別月別状況

令和4年中

覚知別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
火 災	119番通報	固定電話				1		1						1	3
		携帯電話	8	5	4	3		3	6	6	3	2	12	5	57
		I P 電話	1		5			1				1	2	1	11
		加入電話				1	1		1	2	4		3		12
		警察電話													
		駆け付け通報													
		事後聞知													
		その他		1		1		1					1	1	5
		計	9	6	9	6	1	6	7	8	7	3	18	8	88
救 急	119番通報	固定電話	252	246	219	213	242	271	262	253	237	223	224	291	2,933
		携帯電話	729	610	652	646	632	725	928	959	764	764	737	819	8,965
		I P 電話	455	456	411	377	401	409	471	455	430	441	448	504	5,258
		加入電話	13	49	19	11	19	7	38	43	25	14	40	39	317
		駆け付け通報	2	5	7	4	5	4	1	6	7	1		1	42
		その他	10	9	7	10	8	13	20	17	16	15	7	17	42
		計	1,461	1,375	1,315	1,261	1,307	1,429	1,720	1,733	1,479	1,458	1,456	1,671	17,665
救 助	119番通報	固定電話	2		3	5	2		2	1		1		3	19
		携帯電話	22	13	19	20	15	13	12	26	16	18	12	16	202
		I P 電話	3	1	5	3	2	3	1	3		1	3		25
		加入電話	5	2					2	3	8	4	2	4	30
		駆け付け通報							1						1
		その他							1	1	3	1		3	9
		計	32	16	27	28	19	16	19	34	27	25	17	26	286

※ その他は東名専用・無線・メール119等含む。

3 119番月別受信状況

(1) 指令台

令和4年中

内 訳		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報	固定	1		1	1		2		1	1		2	6	15
	携帯	13	10	16	8	2	6	12	13	7	5	27	14	133
	IP	3	2	6		1	2	3	1		1	5	2	26
	小計	17	12	23	9	3	10	15	15	8	6	34	22	174
救急通報	固定	254	250	225	202	237	271	260	250	251	223	223	292	2,938
	携帯	712	594	633	635	621	711	913	925	758	734	722	798	8,756
	IP	449	456	408	381	399	410	465	449	422	446	451	502	5,238
	小計	1,415	1,300	1,266	1,218	1,257	1,392	1,638	1,624	1,431	1,403	1,396	1,592	16,932
救助通報	固定	2		1	3	2		3	1				2	14
	携帯	19	12	19	16	12	11	11	26	14	14	11	18	183
	IP	4	1	4	3	3	3	2	3	1	1	2		27
	小計	25	13	24	22	17	14	16	30	15	15	13	20	224
その他の災害通報	固定	6	4		2	2	4	3	4	4	1	1	1	32
	携帯	24	11	15	13	3	15	22	11	20	16	19	14	183
	IP	1	2	1	2		1	5	2	2	3	2	3	24
	小計	31	17	16	17	5	20	30	17	26	20	22	18	239
通報訓練	固定	23	53	33	17	47	45	33	19	54	50	51	25	450
	携帯	16	10	7	6	24	32	24	15	28	29	47	35	273
	IP	15	23	32	28	43	30	20	17	46	51	38	21	364
	小計	54	86	72	51	114	107	77	51	128	130	136	81	1,087
医療機関問合せ	固定	3	1	2		1		2		1			2	12
	携帯	6	7	4	2	2	4	5	5	2	3	4	3	47
	IP	2						2	3				2	9
	小計	11	8	6	2	3	4	9	8	3	3	4	7	68
各種問合せ間違い等	固定	100	99	81	126	98	85	127	106	85	119	103	94	1,223
	携帯	207	242	247	215	187	166	319	424	316	200	255	280	3,058
	IP	42	60	53	42	14	27	49	70	42	27	38	52	516
	小計	349	401	381	383	299	278	495	600	443	346	396	426	4,797
他都市へ転送	固定		1	1				1						3
	携帯	33	26	34	18	14	21	26	30	25	18	23	39	307
	IP	1			2		1	1	3			1	1	10
	小計	34	27	35	20	14	22	28	33	25	18	24	40	320
計	固定	389	408	344	351	387	407	429	381	396	393	380	422	4,687
	携帯	1,030	912	975	913	865	966	1,332	1,449	1,170	1,019	1,108	1,201	12,940
	IP	517	544	504	458	460	474	547	548	513	529	537	583	6,214
合 計		1,936	1,864	1,823	1,722	1,712	1,847	2,308	2,378	2,079	1,941	2,025	2,206	23,841

※ 東名専用・無線・Net119・メール119は含まない。

※ 他都市へ転送は幸田町の通報を含む。

(2) 他都市転送

令和4年中

内 訳		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報	固定													
	携帯	1		2		1								4
	I P													
	小計	1		2		1								4
救急通報	固定		1	1				1					1	4
	携帯	32	25	32	16	13	21	26	30	24	17	23	37	296
	I P	1			2		1	1	3			1		9
	小計	33	26	33	18	13	22	28	33	24	17	24	38	309
救助通報	固定													
	携帯				1								1	2
	I P													
	小計				1								1	2
その他の災害通報	固定													
	携帯		1		1					1	1			4
	I P													
	小計				1					1	1			3
医療機関問合せ	固定													
	携帯													
	I P													
	小計													
相談等	固定													
	携帯												1	1
	I P													
	小計												1	1
計	固定		1	1				1					1	4
	携帯	33	26	34	18	14	21	26	30	25	18	23	39	307
	I P	1			2		1	1	3			1		9
合 計		34	27	35	20	14	22	28	33	25	18	24	40	320

4 緊急通報装置月別受信状況

令和4年中

件 数		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件 数		4	5	3	7	3	5	6	5	4	2	2	7	53

※ 緊急通報装置による通報は全て救急要請

5 第三者緊急通報月別受信状況

令和4年中

件 数		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件 数							2	1	1	1	3	1	1	10

6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況

(1) メール119・FAX119月別受信状況

令和4年中

内 訳	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報													
救急通報						1							1
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合 計						1							1

(2) Net119 (令和元年10月1日運用開始)

令和4年中

内 訳	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報													
救急通報		1						1			1		3
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合 計		1						1			1		3

(3) 最近5年間の聴覚・言語機能障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移

年 別	区 分	火 災				救 急				救 助				そ の 他				計
平成30年	メール					2												2
	FAX					1												1
令和元年	メール																	
	FAX													1				1
	Net					1												1
令和2年	メール																	
	FAX																	
	Net					3								1				4
令和3年	メール																	
	FAX																	
	Net					1												1
令和4年	メール																	
	FAX					1												1
	Net					3												3

7 最近5年間119番通報件数の推移

(1) 固定電話

年 別	火 災	救 急	救 助	その他	計
平成30年	28	4,197	15	2,376	6,615
令和元年	23	3,854	18	2,112	6,007
令和2年	28	2,986	11	1,910	4,935
令和3年	28	2,858	14	1,715	4,615
令和4年	15	2,938	14	1,720	4,687

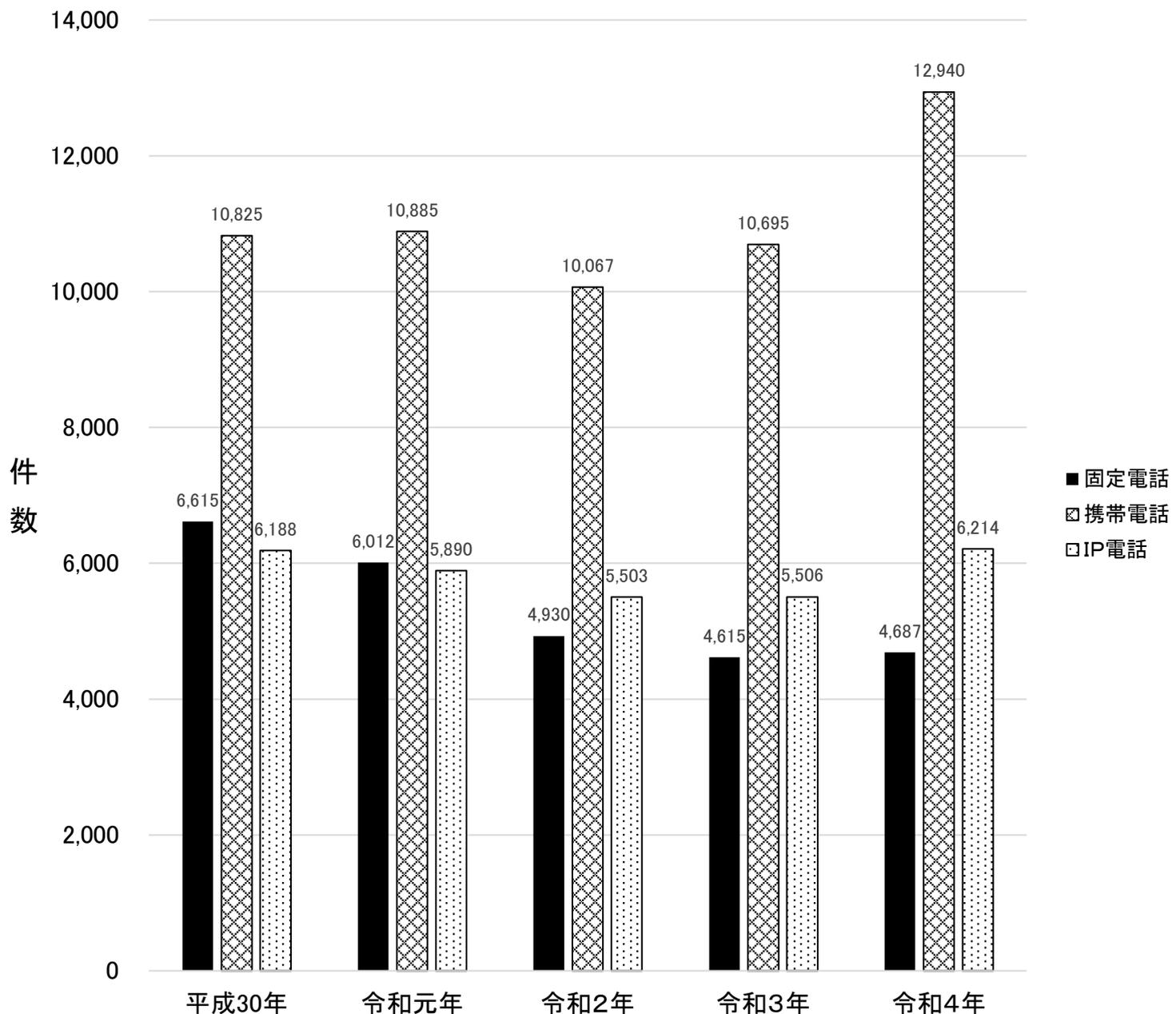
(2) 携帯電話

年 別	火 災	救 急	救 助	その他	計
平成30年	167	7,431	126	3,101	10,825
令和元年	207	7,457	111	3,110	10,885
令和2年	157	6,855	113	2,942	10,067
令和3年	126	7,342	156	3,071	10,695
令和4年	133	8,756	183	3,868	12,940

※ 携帯電話はPHS含む。

(3) IP電話

年 別	火 災	救 急	救 助	その他	計
平成30年	38	5,260	15	875	6,188
令和元年	56	4,983	12	839	5,890
令和2年	56	4,623	10	814	5,503
令和3年	22	4,658	20	806	5,506
令和4年	26	5,238	27	923	6,214



気 象

1 月別気象状況

令和4年中

区 分		月 別											
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
風 速 (m/s)	平均	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	0.9	1.0	1.3
	最大	16.4	19.7	18.0	15.8	14.5	17.1	21.0	14.7	22.2	17.0	13.3	18.1
湿 度 (%)	平均	61.3	61.4	59.6	69.3	65.7	74.3	80.1	77.2	77.2	70.5	71.3	63.8
	最低	26.1	24.1	16.6	10.8	19.7	23.6	35.5	39.1	37.7	20.2	22.7	23.8
気 温 (℃)	平均	3.9	4.4	10.8	16.4	19.1	23.8	27.2	28.5	25.8	18.1	14.1	6.5
	最高	13.7	14.6	22.5	27.9	33.6	38.2	37.5	37.7	33.6	31.2	24.2	16.5
	最低	-2.9	-1.9	-0.5	4.4	7.5	13.4	21.5	22.4	17.8	5.3	4.4	-2.4

2 月別降水量

令和4年中

区 分		月 別												計
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
日 数 (日)		3	4	8	12	10	10	18	15	14	5	9	4	112
降 水 量 (mm)		22.5	26.0	83.0	128.0	195.0	82.5	389.0	156.5	304.5	28.0	96.0	14.5	1,525.5
時 間 最 大 (mm)		4.5	2.5	11.5	13.5	33.5	17.0	68.5	18.0	38.5	6.0	25.5	2.5	

3 最近5年間の気象状況

年 別	気 温 (℃)			風 速 (m/s)		降 水 量 (mm)		湿 度 (%)
	平均	最高	最低	最大	風向	降水量	最大日量	平均
平 成 30 年	16.7	39.6	-4.2	41.5	南南西	1,602.5	9月4日 115.0	65.7
令 和 元 年	16.8	37.7	-3.4	22.6	南	1,389.0	10月12日 107.5	66.0
令 和 2 年	16.8	38.9	-2.2	20.1	南	1,664.0	6月30日 96.0	68.9
令 和 3 年	16.7	38.5	-4.6	23.9	南南西	1,620.5	7月2日 87.0	69.5
令 和 4 年	16.6	38.2	-2.9	22.2	南	1,525.5	9月23日 156.5	69.3

救 急 ・ 救 助



救 急 出 場

令和4年中の救急出場件数は17,665件で、搬送人員は16,254人であった。

前年と比較すると出場件数で2,464件増加し、搬送人員では2,150人増加している。

種別内訳では、急病12,135件(69%)で、続いて一般負傷2,401件(14%)、その他1,551件(9%)、交通事故1,050件(6%)の順となっている。

火災及び運動競技は減少となっているが、他の種別については増加となっている。



1 事故種別出場状況（前年との比較）

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和3年	48		5	949	172	71	2,115	36	167	10,265	1,373	15,201
令和4年	44	1	13	1,050	173	60	2,401	57	180	12,135	1,551	17,665
増減数	△4	1	8	101	1	△11	286	21	13	1,870	178	2,464

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。 △は減を示す。

2 管内、管外別出場状況

区分		出場 件数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 出 場 件 数										
					火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
中 消 防 署 東	本 署	5,258	4,745	4,760	(9) 11		(2) 2	(38) 288	(2) 38		(63) 750	(5) 27	(14) 47	(301) 3,652	(79) 424
	北分署	1,866	1,680	1,692	(6) 8		(2) 2	(11) 109	(1) 16		(21) 266		(8) 20	(109) 1,353	(28) 84
	花園出張所	518	478	480	(1) 2			(3) 24			(7) 60	(1) 2	(3) 8	(20) 354	(5) 64
	合 計	7,642	6,903	6,932	(16) 21		(4) 4	(52) 421	(3) 57		(91) 1,076	(6) 33	(25) 75	(430) 5,359	(112) 572
	本 署	2,097	1,956	1,965	(6) 7			(11) 123			(12) 280	(1) 3	(5) 16	(78) 1,367	(28) 256
	南分署	3,420	3,141	3,160	(3) 4		(1) 2	(26) 196			(38) 433		(4) 37	(156) 2,291	(51) 426
	青野出張所	1,022	968	972	(3) 4		(1) 1	(5) 60			(3) 157	(1) 2	(3) 11	(32) 721	(6) 48
防 署	額田出張所	335	314	317			(2) 4	(1) 21			(4) 50		(2) 7	(11) 215	(1) 27
	本宿出張所	703	653	660	(2) 3			(5) 26		(1) 13	(4) 99			(29) 438	(9) 118
	形埜出張所	97	90	90	(1) 1				6 4				(1) 3	(5) 57	
	合 計	7,674	7,122	7,164	(15) 19		(4) 8	(48) 432		(1) 85	(61) 1,040	(2) 16	(15) 77	(311) 5,089	(95) 878
西消防署 本 署	2,332	2,134	2,145	(2) 4	(1) 1		(23) 189	(2) 31		(10) 283	(1) 8	(5) 28	(121) 1,681	(33) 100	
管 外	17	12	13				(2) 8			(1) 2			(1) 6	(1) 1	
総 合 計	(1,494) 17,665			(33) 44	(1) 1	(8) 13	(125) 1,050	(5) 173	(1) 60	(163) 2,401	(9) 57	(45) 180	(863) 12,135	(241) 1,551	

※（ ）内は、不搬送件数を示す。

3 管外出場状況

区分		出場 件数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 出 場 件 数										
					火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
市町村別	豊 川 市	(2) 4		2				(1) 2			(1) 1				1
	豊 田 市														
	安 城 市	(1) 1													(1) 1
	西 尾 市														
	新 城 市	(1) 6		5	6			(1) 6							
	幸 田 町	(1) 6		5	5									(1) 5	
	合 計	(5) 17		12	13			(2) 8			(1) 2			(1) 6	(1) 1

※（ ）内は、不搬送件数を示す。

4 事故種別不搬送理由

事故種別 不搬送理由	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
辞退（到着前）							7			13		20
辞退（到着後）	4	1	1	67	3	1	110	4	5	437	40	673
拒否				40	1		43	3	6	137	16	246
明らかな死亡			6	3			2	1	32	243		287
他車（隊）搬送			1	8						10	1	20
傷病者なし	29			6	1			1	1	1	41	80
誤報・いたずら											114	114
その他				1			1		1	22	29	54
合計	33	1	8	125	5	1	163	9	45	863	241	1,494

5 時間帯別出場状況

事故種別 時間帯別内訳	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	3	1		15	3		77	9	16	591	35	750
2～4	1		1	14	4		54	6	11	532	24	647
4～6	1			17	1		72	2	11	557	26	687
6～8	2		1	104	7		163	1	19	951	33	1,281
8～10	4			156	20	2	325	2	16	1,413	151	2,089
10～12	2		4	129	32	12	313	4	12	1,380	349	2,237
12～14	5			121	39	10	292	5	15	1,245	297	2,029
14～16	6		3	124	29	14	263		13	1,220	201	1,873
16～18	7		2	125	22	8	279	3	14	1,143	206	1,809
18～20	9		1	128	10	7	258	10	17	1,226	127	1,793
20～22	4		1	77	4	6	176	7	18	1,034	60	1,387
22～24				40	2	1	129	8	18	843	42	1,083
合計	44	1	13	1,050	173	60	2,401	57	180	12,135	1,551	17,665

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。

6 最近10年間における管轄区域別救急出場状況

署所別		年別									
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
中 消 防 署	本 署	4,543	4,606	4,641	4,716	5,115	5,378	5,164	4,406	4,416	5,258
	北 分 署	1,598	1,502	1,720	1,646	1,630	1,819	1,662	1,587	1,766	1,866
	花園出張所	475	451	452	468	473	523	520	425	437	518
東 消 防 署	本 署	1,750	1,808	1,665	1,840	1,803	1,841	1,915	1,749	1,792	2,097
	南 分 署	2,756	2,610	2,738	2,958	2,972	3,151	2,979	2,679	2,896	3,420
	青野出張所	844	833	950	885	977	1,008	1,027	864	900	1,022
	額田出張所	333	331	307	273	303	320	318	318	327	335
	本宿出張所	557	541	594	611	604	654	638	634	590	703
	形埜出張所	91	102	118	103	101	92	102	93	109	97
西消防署本署		1,912	1,908	2,122	2,068	2,008	2,258	2,110	1,850	1,947	2,332
市 外		14	14	16	25	16	10	20	11	21	17
合 計		14,873	14,706	15,323	15,593	16,002	17,054	16,455	14,616	15,201	17,665

傷病者の搬送

令和4年中に救急車で搬送された傷病者数は、前年より2,150人増加の16,254人であった。

年齢別で見ると高齢者（65歳以上）の搬送が9,951人（約61%）と最も多く、次いで成人（18歳～64歳）の搬送が4,906人（約30%）である。

急病と一般負傷では高齢者の占める割合が特に多く、超高齢社会を象徴していると考えられる。

1 年齢別搬送人員

事故種別 年齢・性別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		新生児 (生後28日以内)	男										
	女										3	7	10
乳幼児 (生後29日～6歳)	男				14			107			330	19	470
	女				4			60			232	22	318
少年 (7歳～17歳)	男				77		30	54	2	3	167	13	346
	女			2	32	2	5	28	1	8	150	12	240
成人 (18歳～64歳)	男	4			382	113	15	212	27	41	1,737	170	2,701
	女	2		2	244	27	6	144	9	68	1,520	183	2,205
高齢者 (65歳以上)	男	3		2	125	22	1	631	4	9	3,691	473	4,961
	女	2			112	4	2	1,007	5	7	3,452	399	4,990
小計	男	7		2	598	135	46	1,004	33	53	5,925	688	8,491
	女	4		4	392	33	13	1,239	15	83	5,357	623	7,763
合計		11		6	990	168	59	2,243	48	136	11,282	1,311	16,254

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

2 収容所要時間

区分 事故種別	覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間別搬送人員					合計
	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～59分	60分以上	
急病		71	2,717	8,203	291	11,282
交通事故		3	168	765	54	990
一般負傷		13	506	1,675	49	2,243
その他		45	598	968	128	1,739
合計		132	3,989	11,611	522	16,254

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

3 医療機関別搬送状況

区分 事故種別	医療機関									その他の場所	合計	
	救急医療機関					その他の医療機関						
	国・公立	公 的	私 的		計	国・公立	公 的	私 的				計
			病 院	診 療 所				病 院	診 療 所			
急病	6,140	428	4,526		11,094	43		72	73	188	11,282	
交通事故	331	9	574		914			2	74	76	990	
一般負傷	1,052	28	1,090		2,170			10	63	73	2,243	
その他	1,046	109	520		1,675	30		26	8	64	1,739	
合計	8,569	574	6,710		15,853	73		110	218	401	16,254	

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

4 傷病程度別搬送状況

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				5	1		13		7	213		239
重症	3		3	38	9	3	67	3	40	914	163	1,243
中等症	1		1	113	39	4	634	5	21	3,929	968	5,715
軽症	7		2	834	119	52	1,529	40	68	6,226	180	9,057
その他												
合計	11		6	990	168	59	2,243	48	136	11,282	1,311	16,254

※ 事故種別の「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

死亡 初診時において死亡が確認されたもの。

重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症 傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。

軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。

5 時間帯別搬送状況

事故種別 時間帯別内訳	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				14	3		69	8	13	546	19	672
2～4			1	13	4		52	6	12	489	8	585
4～6	1			14	1		69	1	6	515	8	615
6～8	2			93	6		149	1	14	873	14	1,152
8～10	1			142	20	2	310	2	8	1,325	126	1,936
10～12			3	130	32	11	297	3	9	1,293	318	2,096
12～14	1			119	38	10	272	4	12	1,161	272	1,889
14～16	2			120	28	14	246		12	1,137	181	1,740
16～18	1		1	119	22	8	263	3	11	1,076	186	1,690
18～20	3			118	10	7	240	8	12	1,143	108	1,649
20～22			1	74	2	6	163	6	13	951	42	1,258
22～24				34	2	1	113	6	14	773	29	972
合計	11		6	990	168	59	2,243	48	136	11,282	1,311	16,254

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

6 救急隊員の行った応急処置

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
処置項目	11,278	990	2,240	1,731	16,239
止血	48	35	202	48	333
固定	135	231	424	100	890
人工呼吸	161		4	11	176
心肺蘇生	325	6	26	19	376
うち自動式	201	2	14	9	226
酸素吸入	2,658	68	149	502	3,377
気道確保	570	8	37	38	653
うち1	14		1	3	18
うち2	39		14	2	55
うち3	246	3	9	10	268
うち4	2		4	1	7
保温	336	22	57	70	485
被覆	49	156	541	93	839
在宅療法継続	82		9	3	94
I	11		1		12
II	71		8	3	82
除細動	36				36
静脈路確保	169	2	9	12	192
A	84		9	1	94
B	85	2		11	98
薬剤投与	100		8	1	109
a	74		8	1	83
b	26				26
血糖測定	139	1	2	5	147
血圧測定	10,662	975	2,109	1,630	15,376
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	4,371	451	412	383	5,617
血中酸素飽和度の測定	10,955	983	2,190	1,708	15,836
心電図	10,359	639	1,771	1,369	14,138
その他の応急処置	11,170	976	2,221	1,656	16,023
合計	52,325	4,553	10,171	7,648	74,697

- 気道確保 1 経鼻エアウェイを使用した件数
 2 喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数
 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用した件数
 4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数
- 在宅療法 I 気管切開孔又は外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数
 II I以外の在宅療法継続中の傷病者に対し応急処置等を行った件数
- 静脈路確保 A 救急救命士が心肺停止傷病者に対し行った件数
 B 救急救命士が心肺停止前傷病者に対し行った件数
- 薬剤投与 a 救急救命士が心肺停止傷病者に対しアドレナリンを投与した件数
 b 救急救命士が低血糖傷病者に対しブドウ糖を投与した件数

7 急病にかかる疾病分類別送状状況

区分	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	左記以外
合計人員	709	1,080	1,483	1,266	261	777	770	371	4,565

救 助 出 動

令和4年中における救助出動件数は、286件で救助人員は134人であった。

火災、交通事故をはじめ、各種災害事象が複雑多様化しており、これら救助事案に対応するため、救助体制の高度化及び充実強化を図り万全を期している。



1 管内、管外事故種別出動状況

事故種別 所属等		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数		3		50	16	1	7	97	4		108	286
活 動 件 数		3		29	16	1	6	88	3		54	200
救 助 人 員		1		32	17	1	6	58	1		18	134
中 消 防 署	本 署	1 (1)		11 (5)	3 (3)		2 (1)	42 (38)	2 (2)		33 (19)	94 (69)
	北 分 署			3 (2)	2 (2)			8 (8)	1		12 (7)	26 (19)
	花園出張所			1 (1)				3 (3)			5 (1)	9 (5)
	小 計	1 (1)		15 (8)	5 (5)		2 (1)	53 (49)	3 (2)		50 (27)	129 (93)
東 消 防 署	本 署	1 (1)		9 (6)	1 (1)		3 (3)	8 (8)			10 (4)	32 (23)
	南 分 署			6 (3)	2 (2)		1 (1)	21 (19)	1 (1)		23 (13)	54 (39)
	青野出張所			3 (3)	1 (1)			2 (2)			1	7 (6)
	額田出張所			2 (2)	3 (3)						1 (1)	6 (6)
	本宿出張所							2 (1)			9 (5)	11 (6)
	形埜出張所										1 (1)	1 (1)
小 計	1 (1)		20 (14)	7 (7)		4 (4)	33 (30)	1 (1)		45 (24)	111 (81)	
西 消 防 署 本 署		1 (1)		13 (6)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	11 (9)			13 (3)	44 (25)
管 外				2 (1)								2 (1)
合 計		3 (3)		50 (29)	16 (16)	1 (1)	7 (6)	97 (88)	4 (3)		108 (54)	286 (200)

()は活動件数

2 発生場所別出動状況

発生場所 発生場所		事故種別 事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	3						93	2		74	172
	その他の屋内						5	3	1		3	12
屋 路	高速自動車 国道			6							1	7
	その他の 道路			38		1					5	44
屋 外	内水面 (湖川沼等)				16							16
	山岳										1	1
	その他の屋外			5			2	1	1		18	27
その他				1							6	7
合計		3		50	16	1	7	97	4		108	286

3 発生場所別活動状況

発生場所 発生場所		事故種別 事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	3						84	2		35	124
	その他の屋内						5	3			2	10
屋 路	高速自動車 国道			5								5
	その他の 道路			22		1						23
屋 外	内水面 (湖川沼等)				16							16
	山岳										1	1
	その他の屋外			2			1	1	1		14	19
その他											2	2
合計		3		29	16	1	6	88	3		54	200

4 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居	1						54			4	59
	その他の屋内						5	3			1	9
屋 外	道 路			7								7
	高速自動車 国 道											
	その他の 道 路			23		1						24
	内 水 面 (湖川沼等)				17							17
	山 岳										1	1
	その他の屋外			2			1	1	1		12	17
そ の 他												
合 計		1		32	17	1	6	58	1		18	134

5 最近10年間における出動状況

事故種別 発生年	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
平成 25 年	8	2	42	4		3	33	1		27	120
平成 26 年	9	1	44	5		4	35	2		27	127
平成 27 年	2	2	47	5		2	41	7		28	134
平成 28 年	8		50	3		4	45	4		47	161
平成 29 年	3		42	4		8	56	1		56	170
平成 30 年	5		63	2	2	2	49	2		53	178
令和 元年	3		46	1		3	63	2		34	152
令和 2 年	5	1	37	6	1	2	73	3		40	168
令和 3 年	6		43	5		2	78	6		95	235
令和 4 年	3		50	16	1	7	97	4		108	286

6 時間帯別出動状況

事故種別 時間帯別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
0 ~ 2			1	2	1	1	2			3	10
2 ~ 4			3	1			1			2	7
4 ~ 6			1				3			2	6
6 ~ 8			6				5			3	14
8 ~ 10			4	2		2	12			18	38
10 ~ 12			10	2			18			14	44
12 ~ 14			4			1	10	1		14	30
14 ~ 16			4	4		1	9	1		15	34
16 ~ 18	1		6	2		2	10			12	33
18 ~ 20	2		4	1			14	1		10	32
20 ~ 22			4	2			10	1		10	27
22 ~ 24			3				3			5	11
合 計	3		50	16	1	7	97	4		108	286

7 救助工作車事故種別出動件数

区分 出動車両	事 故 種 別 救 助 出 動 件 数											そ の 他 出 動	※ 火 災 出 動	総 合 計			
	火 災	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合							
	建	建	通	難	水	害	等	自	然	災	害	事	故	計			
中救助工作車	3		24	14	1	5	70	4			56	177	19	23	219		
東救助工作車			16	8		2	15				36	77	21	16	114		
西救助工作車			12	8	1	1	12				19	53	3	7	63		
合 計	3		52	30	2	8	97	4			111	307	43	46	396		

※火災出動は救助活動を行っていない事案のみ計上。

高速道路救急救助出場

1 東名高速道路

令和4年中の東名高速道路における救急出場件数は40件で、前年と比較すると15件の増加、また救助出動件数は3件で、前年と比較して1件の増加となった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出場 件数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和3年	25	22	3	22	10	(1) 12	(2) 3
令和4年	40	31	9	33	(4) 17	(3) 19	(2) 4
増減数	15	9	6	11	7	7	1

※ () 内は、不搬送件数を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分	区 間 K P 件数 人員	豊田市 豊田ジャンクション～ 302.6		岡崎市 302.6～ 293.4		岡崎市 岡崎インター 293.4		岡崎市 293.4～ 283.9		豊川市 283.9～ 音羽蒲郡インター		合 計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
		上り線					1		6	5	1	1	8
下り線			16	13							16	13	
その他					6	4	10	10			16	14	
合計			16	13	7	4	16	15	1	1	40	33	

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近10年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
平成 25 年	上り線	15	2
	下り線	27	3
	その他	27	1
	合 計	69	6
平成 26 年	上り線	27	
	下り線	31	1
	その他	22	1
	合 計	80	2
平成 27 年	上り線	34	5
	下り線	35	5
	その他	25	
	合 計	94	10
平成 28 年	上り線	13	
	下り線	11	
	その他	13	
	合 計	37	
平成 29 年	上り線	7	1
	下り線	11	
	その他	16	
	合 計	34	1
平成 30 年	上り線	5	1
	下り線	9	
	その他	6	
	合 計	20	1
令和 元年	上り線	2	
	下り線	10	1
	その他	15	
	合 計	27	1
令和 2 年	上り線	4	
	下り線	5	
	その他	9	
	合 計	18	
令和 3 年	上り線	4	1
	下り線	7	1
	その他	14	
	合 計	25	2
令和 4 年	上り線	8	2
	下り線	16	1
	その他	16	
	合 計	40	3

2 新東名高速道路

令和4年中の新東名高速道路における救急出場件数は37件で、前年と比較すると増減はなく、また救助出動件数は4件で、前年と比較して増減はなかった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和3年	37	31	6	37	(3) 26	(3) 10	1
令和4年	37	30	7	31	(2) 16	(4) 18	(1) 3
増 減 数	0	△ 1	1	△ 6	△ 10	8	2

※ () 内は、不搬送、△は、減を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分	区 間 K P 件数 人員	豊田市 253.1～ 251.4		岡崎市 251.4～ 236.5		岡崎市 岡崎東イン ター 236.5 236.5		岡崎市 236.5～ 230.1		豊川市 230.1～ 210.3		合 計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上 り 線								5	5	9	7	14	12
下 り 線				6	5							6	5
そ の 他				15	13	2	1					17	14
合 計				21	18	2	1	5	5	9	7	37	31

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近5年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
平成30年	上り線	8	2
	下り線	4	
	その他	27	
	合 計	39	2
令和元年	上り線	15	
	下り線	8	
	その他	26	
	合 計	49	
令和2年	上り線	7	1
	下り線	3	
	その他	11	
	合 計	21	1
令和3年	上り線	20	3
	下り線	6	1
	その他	11	
	合 計	37	4
令和4年	上り線	14	3
	下り線	6	1
	その他	17	
	合 計	37	4

救急法の講習会

令和4年中に、普通救命講習、上級救命講習及び救命入門コースを合わせて307回開催し、2,397人が参加され、職場、家庭、学校などでの心肺蘇生法やAEDの使用法等について理解と認識を深めることができた。

今後も、市民等に対する応急手当の普及啓発を積極的に行いたい。

講習区分	講習内容	回数	人数
普通救命講習Ⅰ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に成人)、AEDの使用法、異物除去法、止血法	174	765
普通救命講習Ⅱ (講習時間240分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に成人)、AEDの使用法、異物除去法、止血法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価		
普通救命講習Ⅲ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に小児、乳児、新生児)、AEDの使用法、異物除去法、止血法	32	170
上級救命講習 (講習時間480分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(成人、小児、乳児、新生児)、AEDの使用法、異物除去法、止血法、傷病者管理法、外傷の手当要領、搬送法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価	15	67
救命入門コース (講習時間45分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に成人)、AEDの使用法	86	1,395
救命入門コース (講習時間90分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法(主に成人)、AEDの使用法		
合計		307	2,397



消 防 団



消 防 団

本市の消防団は多団制で、21消防団、107部、1,471人で編成し、消防ポンプ車（A-2級）4台、小型動力ポンプ付積載車（B-2級）32台、小型動力ポンプ積載車63台、軽積載車13台、小型動力ポンプ（B-2級）2台、小型動力ポンプ（B-3級）84台をもって編成している。

1 消防団現勢

令和5年4月1日

種別 団別	面積 (k㎡)	定員	人 員							機 械				
			実員	団長	副団長	部長	副部長	班長	消防員	ポンプ自動車	付積載車 小型動力ポンプ	積載車	軽積載車	小型動力ポンプ
広幡	6.235	96	91	1	1	7	7	17	58		3	4		4
連尺	2.081	58	56	1	1	4	4	10	36	1	1	2		2
梅園	6.243	40	35	1	1	3	3	7	20		1	2		2
根石	4.465	40	34	1	1	3	3	7	19		1	2		2
三島	3.307	50	48	1	1	4	4	9	29		1	3		3
六名	2.705	50	50	1	1	4	4	9	31		1	3		3
羽根	2.754	50	46	1	1	4	4	9	27		1	3		3
岡崎	3.259	60	53	1	1	5	5	11	30		1	4		4
美合	9.700	50	50	1	1	4	4	9	31		1	2	1	3
男川	11.838	60	57	1	1	5	5	11	34		1	4		4
福岡	5.200	60	60	1	1	5	5	11	37		1	3	1	4
竜谷	9.580	40	40	1	1	3	3	7	25		1	2		2
藤川	4.610	40	40	1	1	3	3	7	25		1	1	1	2
山中	15.420	40	40	1	1	3	3	7	25		1	1	1	2
本宿	14.640	40	40	1	1	3	3	7	25		1		2	2
河合	20.912	60	60	1	1	5	5	11	37		1	4		4
常磐	29.898	80	80	1	1	7	7	15	49		1	5	1	6
岩津	36.731	164	159	1	1	13	13	30	101	1	3	6	3	9
矢作	20.091	105	104	1	1	5	5	15	77		5			
六ツ美	17.301	84	80	1	1	4	4	12	58		4			
額田	160.270	187	186	1	1	13	13	30	128	2	1	12	3	23
機能別団員		63	62						62					
合計	387.200	1,517	1,471	21	21	107	107	251	964	4	32	63	13	84

2 消防団員階級別勤務年数調

令和5年4月1日

階級 年数	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
1 年 未 満						106	106
1 年以上 5 年未満			7	10	56	239	312
5 " 10 "			36	44	93	231	404
10 " 15 "	1	3	34	31	58	160	287
15 " 20 "	6	7	16	14	23	105	171
20 " 25 "	4	4	8	5	10	61	92
25 " 30 "		5	4	2	5	36	52
30 " 35 "	4	1	1		4	18	28
35 " 40 "	4	1	1	1	2	8	17
40 年 以 上	2						2
合 計	21	21	107	107	251	964	1,471

3 消防団員階級別年齢調

令和5年4月1日

階級 年齢	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
20 歳 未 満						1	1
20 歳以上 25 歳未満					4	22	26
25 " 30 "				5	6	82	93
30 " 35 "			14	10	40	120	184
35 " 40 "		1	24	34	69	211	339
40 " 45 "	1	2	29	32	73	183	320
45 " 50 "	1	10	16	8	30	166	231
50 " 55 "	7	3	13	11	17	91	142
55 " 60 "	6	2	6	6	6	37	63
60 歳 以 上	6	3	5	1	6	51	72
合 計	21	21	107	107	251	964	1,471
平 均 年 齡	56.1	50.1	43.5	41.3	40.6	41.5	41.8

消防団員報酬

令和5年4月1日

区 分	団 長	副団長	部 長	副部長	班 長	消 防 員	消防員 (機能別団員)
報酬の額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	36,500円	12,000円

費 用 弁 償

令和5年4月1日

種 別 \ 区 分	回 数 等	金 額	種 別 \ 区 分	回 数 等	金 額
災 害 出 動	4時間まで	2,700円	観 閲 出 動	1 回	2,300円
〃	4時間を超え 8時間まで	4,800円	訓 練 出 動	1 回	2,300円
〃	8時間を超え	8,000円	消 防 ポ ン プ 整 備 出 動	1 回	430円
警 戒 出 動	4時間 までにつき	2,300円			

消防団員退職報償金

令和5年4月1日

階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	239,000円	344,000円	459,000円	594,000円	779,000円	979,000円
副 団 長	229,000円	329,000円	429,000円	534,000円	709,000円	909,000円
部 長	219,000円	318,000円	413,000円	513,000円	659,000円	849,000円
副 部 長	214,000円	303,000円	388,000円	478,000円	624,000円	809,000円
班 長	204,000円	283,000円	358,000円	438,000円	564,000円	734,000円
消 防 員	200,000円	264,000円	334,000円	409,000円	519,000円	689,000円

公務災害補償基礎額

令和5年4月1日

階 級	勤 務 年 数		
	10 年 未 満	10年以上20年未満	20 年 以 上
団長及び副団長	12,440円	13,320円	14,200円
部長及び副部長	10,670円	11,550円	12,440円
班長及び消防員	8,900円	9,790円	10,670円

消防団員等救慰金

1 障害者救慰金

令和5年4月1日

障 害 の 程 度	抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	特に著しい功労があると認められるもの	著しい功労があると認められるもの	功労があると認められるもの
第1級	25,200,000円	18,700,000円	13,600,000円 ~ 9,000,000円	7,000,000円 ~ 4,500,000円
第2級	23,300,000円	15,500,000円	12,100,000円 ~ 7,900,000円	6,200,000円 ~ 4,000,000円
第3級	20,200,000円	13,600,000円	10,700,000円 ~ 7,100,000円	5,500,000円 ~ 3,600,000円
第4級	17,600,000円	12,100,000円	9,500,000円 ~ 6,400,000円	4,900,000円 ~ 3,300,000円
第5級	15,100,000円	10,300,000円	8,200,000円 ~ 5,500,000円	4,200,000円 ~ 2,800,000円
第6級	12,600,000円	9,000,000円	7,000,000円 ~ 4,700,000円	3,600,000円 ~ 2,400,000円
第7級	11,400,000円	7,600,000円	5,900,000円 ~ 4,100,000円	3,000,000円 ~ 2,100,000円
第8級	10,100,000円	6,400,000円	4,900,000円 ~ 3,400,000円	2,500,000円 ~ 1,700,000円
第9級	8,900,000円	5,700,000円	4,400,000円 ~ 3,000,000円	2,200,000円 ~ 1,500,000円
第10級	8,400,000円	5,100,000円	4,100,000円 ~ 2,800,000円	2,100,000円 ~ 1,400,000円
第11級	8,000,000円	4,700,000円	3,600,000円 ~ 2,400,000円	1,800,000円 ~ 1,200,000円
第12級	7,400,000円	4,200,000円	3,000,000円 ~ 2,100,000円	1,500,000円 ~ 1,100,000円
第13級	6,800,000円	4,000,000円	2,500,000円 ~ 1,700,000円	1,300,000円 ~ 900,000円
第14級	6,400,000円	3,400,000円	2,000,000円 ~ 1,300,000円	1,000,000円 ~ 700,000円

2 負傷者等救慰金

令和5年4月1日

療養期間が4箇月未満のもの	500,000円以内で市長が定める額
療養期間が4箇月以上のもの	1,260,000円以内で市長が定める額

3 殉職者救慰金

令和5年4月1日

抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	25,200,000円
特に著しい功労があると認められるもの	18,700,000円
著しい功労があると認められるもの	13,600,000円～9,000,000円
功労があると認められるもの	7,000,000円～4,500,000円

4 殉職者特別救慰金

令和5年4月1日

消防団員が災害に際し、命を受け、特に生命の危険が予想される現場へ出動し、生命の危険を顧みることなくその職務を遂行し、そのため死亡し、その功労が特に抜群と認められる場合	30,000,000円
---	-------------

岡崎消防 令和4年 消防年報
令和5年7月刊行
編集・刊行 岡崎市消防本部
〒444-0022 岡崎市朝日町3丁目4番地
問合せ先 消防本部 総務課 総務係
TEL0564-21-9836 / FAX0564-21-9821
E-mail shobohonbu@city.okazaki.lg.jp

この資料の内容は、以下の岡崎市ホームページからも御覧いただけます。

[http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1572/1653/
okazakishisyoubouhonbu-gaiyou.html](http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1572/1653/okazakishisyoubouhonbu-gaiyou.html)

